

**(仮称) 和歌山南インターチェンジ設置の  
必要性調査に係る市民アンケート調査  
結果報告書**

**和歌山市総務局企画部交通政策課**

**平成23年10月**



## 目次

1. アンケート調査の概要.....	1
2. 全集計アンケート調査結果.....	3
3. 南東部・南部地域アンケート調査結果.....	9
4. 北部地域アンケート調査結果.....	15
5. 中心部・東部地域アンケート調査結果.....	21
6. クロス集計（南インターチェンジは必要と回答）.....	27
7. クロス集計（南インターチェンジは不要と回答）.....	33
8. クロス集計（南インターチェンジ設置はどちらともいえない・わからないと回答）.....	39
9. クロス集計（南インターチェンジを利用すると回答）.....	45
10. クロス集計（南インターチェンジを利用しないと回答）.....	51
11. クロス集計（高速道路をよく利用すると回答）.....	57
12. クロス集計（南東部・南部地域居住で高速道路をよく利用すると回答）.....	63
13. アンケート調査票.....	69



## 1. アンケート調査の概要

### (1) アンケート調査の目的

和歌山市域では、平成22年3月に和歌山北インターチェンジが供用され、紀の川以北地域の方々の利便性が向上されました。

しかし、和歌山インターチェンジ以南では、和歌山インターチェンジから海南東インターチェンジまで約10kmあり、出発地からインターチェンジまで遠く、時間的短縮のメリットを享受できないなどの課題があります。

こうした課題があることから、高速道路へのアクセスの利便性を高めるため、近畿自動車道紀勢線（通称：阪和自動車道）和歌山インターチェンジの南に新たなインターチェンジの設置の必要性について、検討しています。

今回の調査は、その新たなインターチェンジの必要性について、市民の皆様の意見を聴取し、今後の検討資料とするために行うことを目的に実施しました。

### (2) アンケート調査の内容

この調査は、新たなインターチェンジの必要性を問うものだけでなく、高速道路の利用実態、必要・不必要の理由などを明らかにして、高速道路の必要性及び設置された場合の利用実態が明らかにできるように調査を行ったものです。

### (3) アンケート調査の対象

アンケート調査は、住民基本台帳に記録されている市内在住の20歳以上の市民の方々で無作為に抽出した3,000人を対象として行いました。

### (4) アンケート調査の方法

アンケートの配布・回収は、郵送により配布を行い、回収も同様に郵送としました。調査は、平成23年7月13日から8月12日までの期間で実施しました。

### (5) アンケート調査の回収結果

アンケート調査の回収率は34.6%となりました。

（配付調査票：3,000票、回収票：1,037票）

### (6) アンケート調査の集計・分析

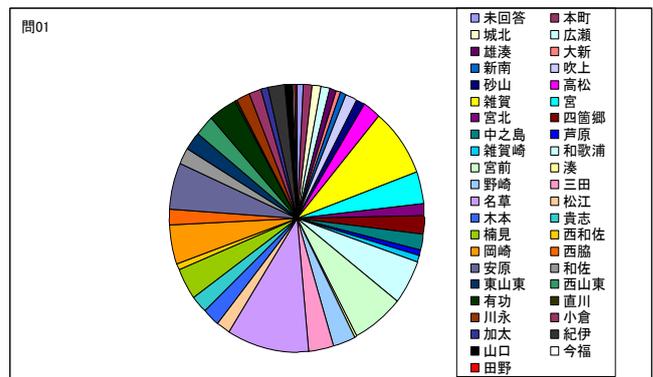
回収されたアンケート調査票は、手集計により単純集計を行い、グラフ化し分析を行いました。また、全ての回収票の集計及び、市内の「南東部・南部地域」、「北部地域」、「中心部・東部地域」に分け集計を行い、グラフ化し分析を行い、さらに、主要質問でのクロス集計を行い、グラフ化し分析を行いました。

## 2. 全集計アンケート調査結果

## 2. 全集計アンケート調査結果

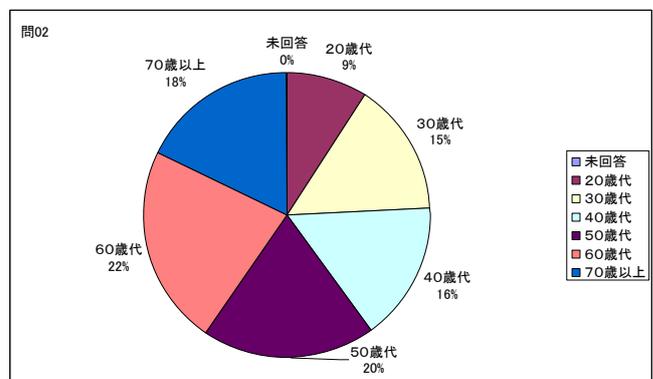
### 問1 【すべての方に質問】お住まいの地域は

特に回答が多かった地域は、名草地区で10%、次いで雑賀地区が8%、宮前地区が7%となった。



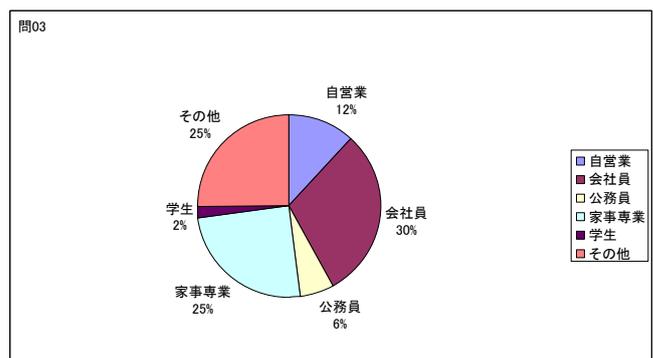
### 問2 【すべての方に質問】年齢は

60歳以上が最も多く22%となり、各年代でほぼ均衡した割合となったが、20歳代の回答は低く9%であった。



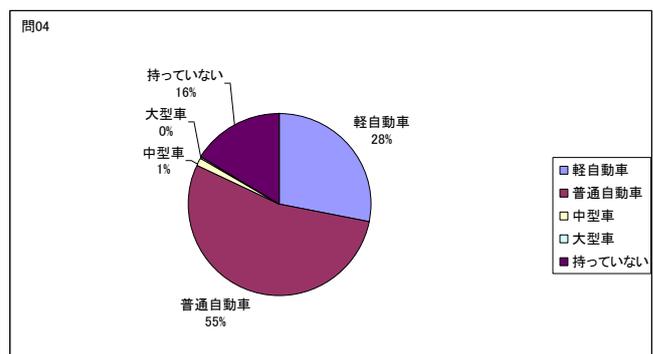
### 問3 【すべての方に質問】職業は

会社員が全体の30%と最も多く、次いでその他、家事専業、自営業となっている。



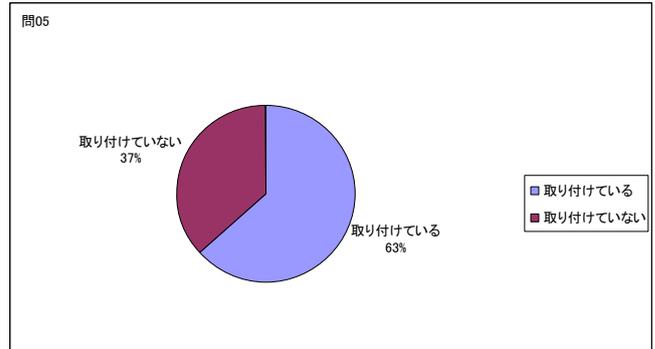
### 問4 【すべての方に質問】所有されている車の車種は何ですか（主にご利用になる車）

主に利用する車種は、普通自動車55%、次いで軽自動車28%となった。また、16%が車を所有していないとの回答であった。



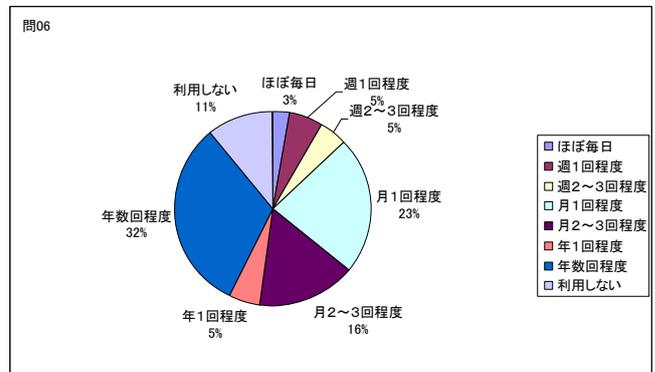
問5 【車を所有している方のみに質問】お持ちの車にETCを取り付けていますか。

車を所有されている方で、ETCの搭載率は63%とETCを搭載している車の方がやや多い結果となった。



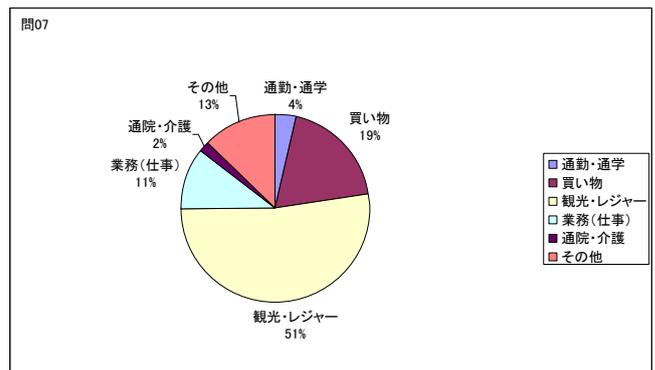
問6 【車を所有している方のみに質問】近畿自動車道(阪和道)の利用頻度はどれくらいですか。

年数回程度が32%と最も多く、次いで月1回が23%、月2~3回が16%という結果となった。



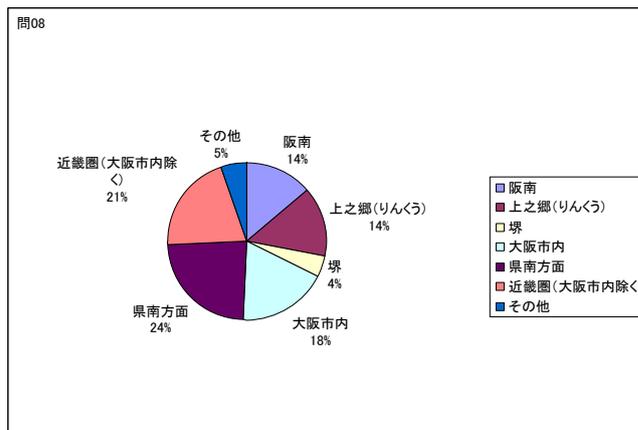
問7 【阪和道を利用する方のみに質問】その利用目的は何ですか。

観光・レジャーが51%、買物が19%と私による利用が半数以上を占める結果となった。また、自由意見も帰省や友人訪問等が多く、問6の利用頻度と合わせて見ると週末や休日に高速道路を利用することが伺える結果となった。



問8 【阪和道を利用する方のみに質問】よく利用する目的地のインターチェンジはどこですか。

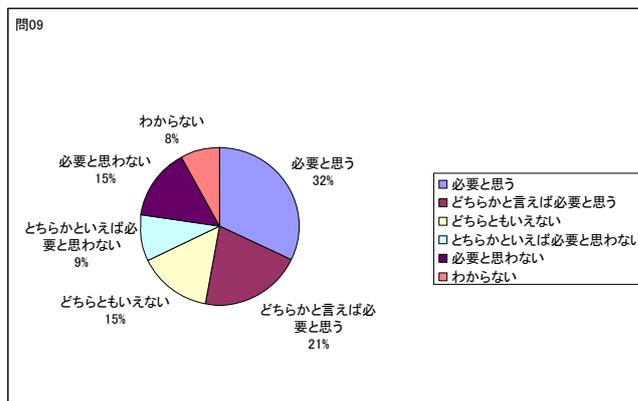
阪南、上之郷、堺、大阪市内と大阪方面への利用が半数以上となっており、また県南方面への利用も24%という結果となった。



問9 【すべての方に質問】(仮称)和歌山南インターチェンジを必要と思いますか。

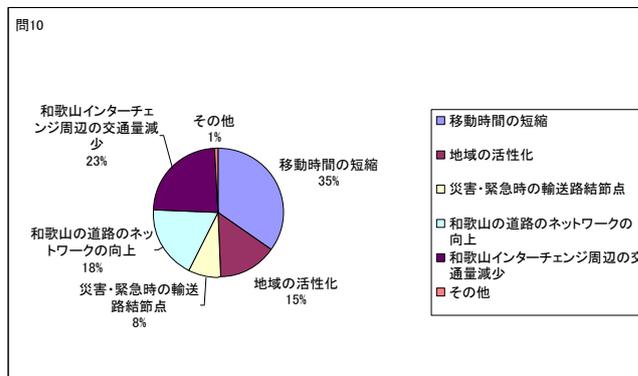
53%が必要(必要と思う、どちらかと言えば必要と思う)との回答であり、必要と思わない(必要と思わない、どちらかと言えば必要と思わない)との回答は24%と必要と思う回答が多い結果となった。

また、どちらともいえない、わからないとの回答も23%となり、詳細な設置位置等が不明確であったため、判断ができなかったと考えられる。



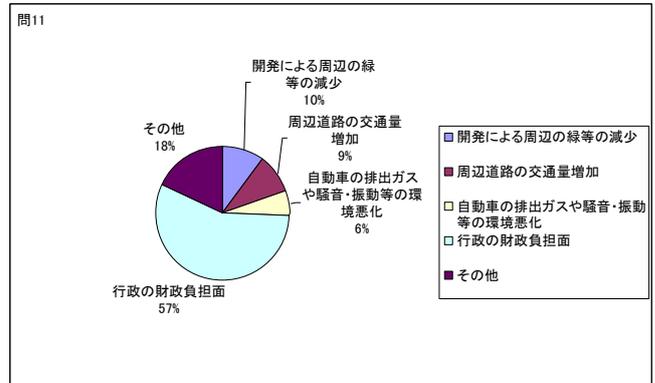
問10 【問9で必要と思うと回答した方に質問】必要と思う理由で特に重要なものをお選びください。

上位から移動時間の短縮(35%)、和歌山インターチェンジ周辺交通量の減少(23%)、道路ネットワークの向上(18%)となっており、現状の和歌山インターチェンジまでの距離や渋滞等に不満があるため、利便性の向上が図れる意見が大半を占めたと考えられる。



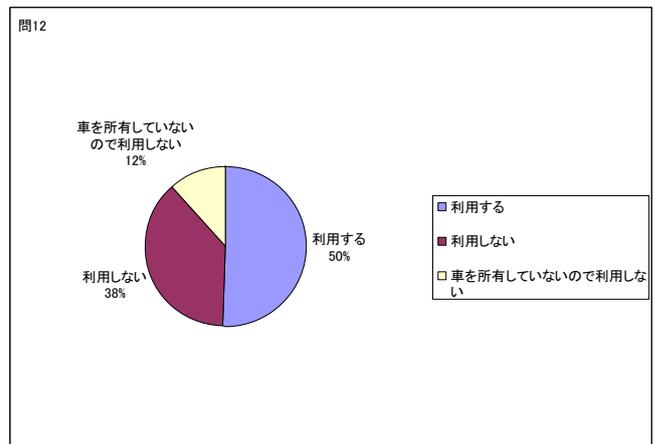
問11 【問9で必要と思わないと回答した方に質問】必要と思わない理由で特に重要なものを選びください。

行政の財政負担面を懸念する意見が57%と半数以上を占め、これは、整備費用や市の負担額等の提示が無かったことが理由として考えられる。次いで環境への影響を心配する意見が多い結果となり、また、自由意見では、設置場所のアクセスの悪さを指摘する意見や市内中心部の活性化に繋がらないのではという意見があった。



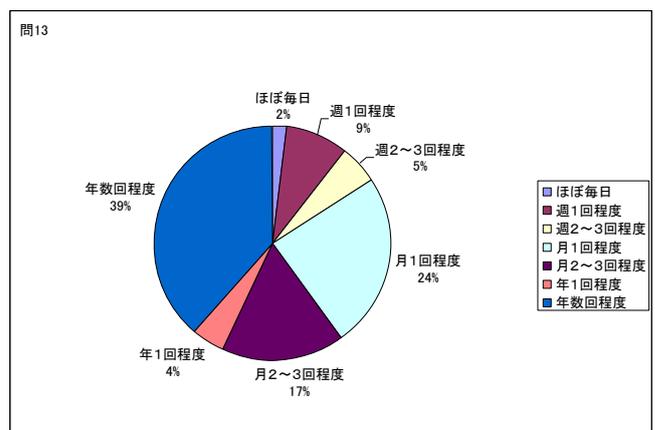
問12 【すべての方に質問】もし(仮称)和歌山南インターチェンジが設置されれば利用しますか。

利用するが50%、利用しないが38%となり、半数が設置されれば利用したいと考えている。また、問9の必要との回答の53%より低い結果となったのは、市内北部地域や中心部・東部地域にお住まいの方が多く、直近のインターチェンジではないことが考えられる。



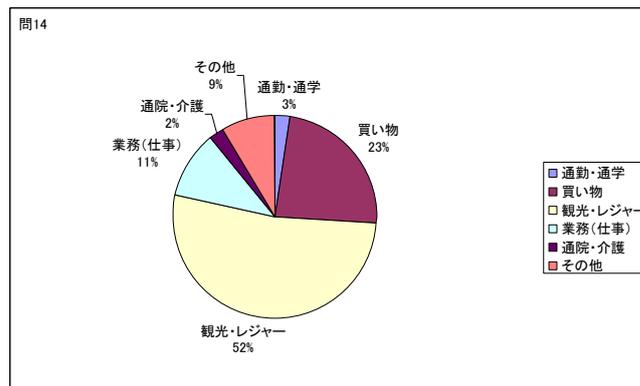
問13 【問12で利用すると回答した方に質問】どれくらいの頻度で利用されますか。

前述の問6とほぼ同じ傾向となったが、週1回程度と年数回程度の利用頻度が多くなっていることから、高速道路の利用意思が高まることから期待できる。



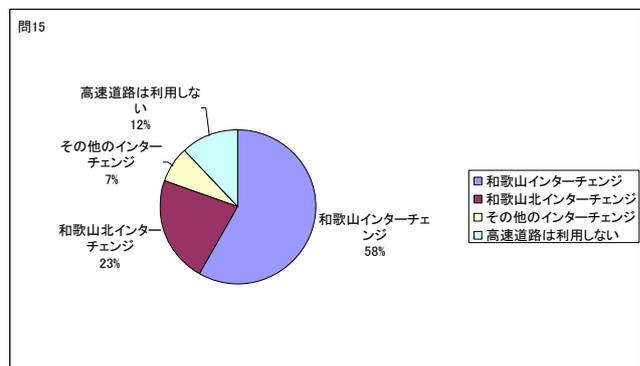
問14 【問12で利用すると回答した方に質問】その利用目的は何ですか。

前述の問7とほぼ同じ傾向となったが、買い物割合がやや増加する結果となった。また、自由意見では、帰省や友人訪問等の意見が多かった。



問15 【問12で利用しないと回答した方に質問】利用しない場合、どのインターチェンジを利用しますか。

和歌山インターチェンジが58%と最も多く、次いで和歌山北インターチェンジが23%となっている。このことから、基本的に居住地域直近のインターチェンジを利用することが考えられる。



問16 その他ご意見があればお書きください。

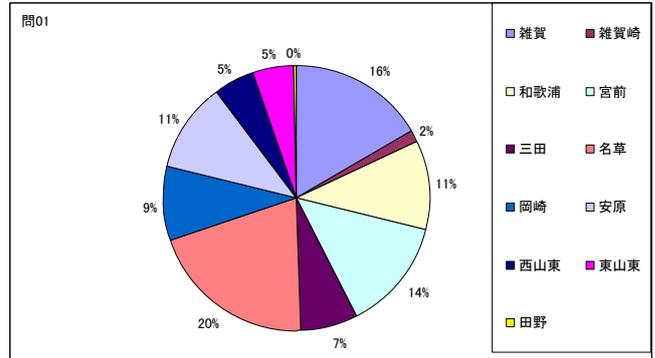
【主要な意見】

- ・南インターチェンジ設置によりバランスが取れ、地域の活性化につながる
- ・インターチェンジだけではなく、周辺道路の拡張も必要
- ・先に高速道路の南伸を要望
- ・市の財政面の不安
- ・環境の悪化へ繋がり時代に逆行している
- ・福祉への充実を優先して欲しい
- ・現在の和歌山北インターチェンジを含め大阪方面、紀南方面の上り下り両方の入口を増設、設置してほしい

### **3. 南東部・南部地域アンケート調査結果**

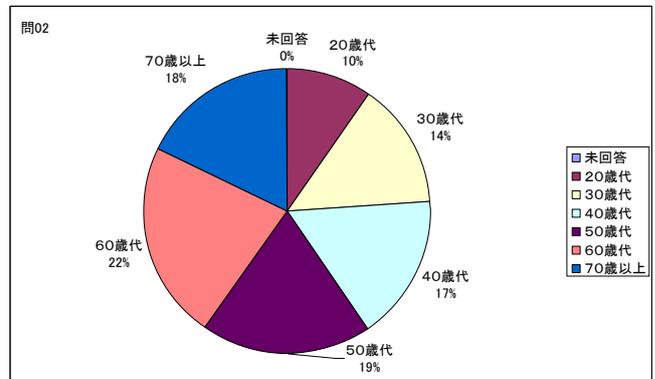
問1 【すべての方に質問】お住まいの地域は

回答のあった地域のうち、名草地区が20%と最も多く、次いで雑賀が16%、宮前が14%という結果となった。



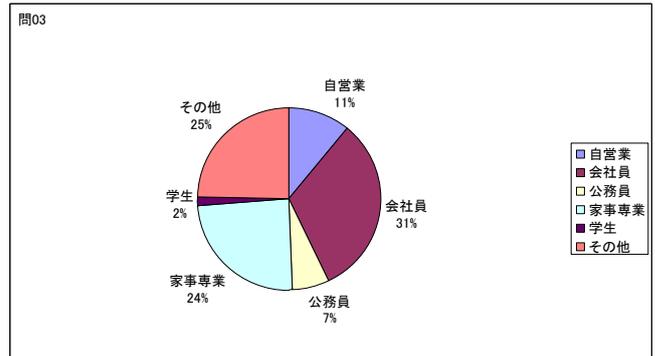
問2 【すべての方に質問】年齢は

各年代ではほぼ均衡した割合となったが、60歳以上が最も多く22%となり、20歳代の回答は低く10%であった。



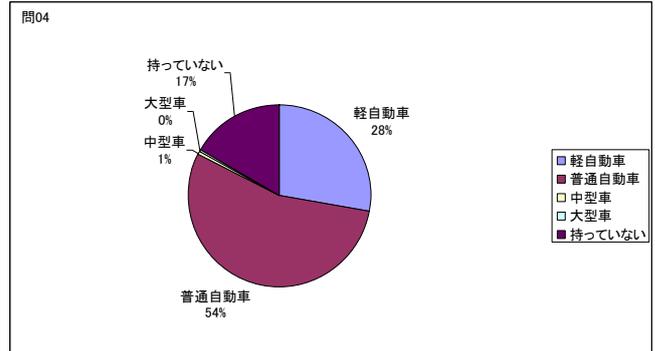
問3 【すべての方に質問】職業は

職業別では会社員が全体の31%と最も多く、次いでその他、家事専業、自営業、公務員となった。



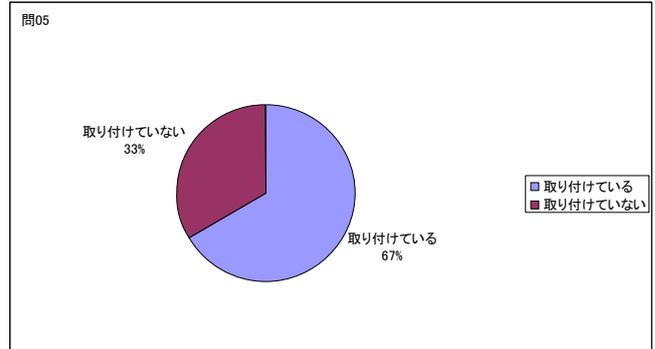
問4 【すべての方に質問】所有されている車の車種は何ですか（主にご利用になる車）

主に利用する車種は、普通自動車54%、次いで軽自動車28%となった。また、車を所有していないとした回答も17%となった。



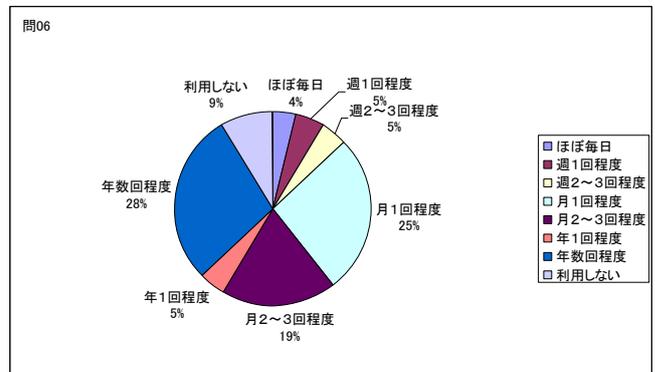
問5 【車を所有している方だけに質問】お持ちの車にETCを取り付けていますか。

車を所有されている方で、ETCの搭載率は67%となり、全体の結果と比べ搭載率はやや高くなっている。



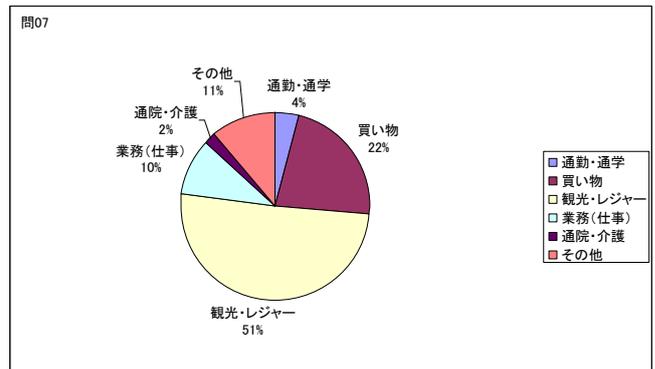
問6 【車を所有している方だけに質問】近畿自動車道(阪和道)の利用頻度はどれくらいですか。

利用頻度は、年数回程度が28%、次いで月1回が25%、月2~3回が19%という結果となり、全体の結果と比べ、高速道路の利用頻度が高い。



問7 【阪和道を利用する方だけに質問】その利用目的は何ですか。

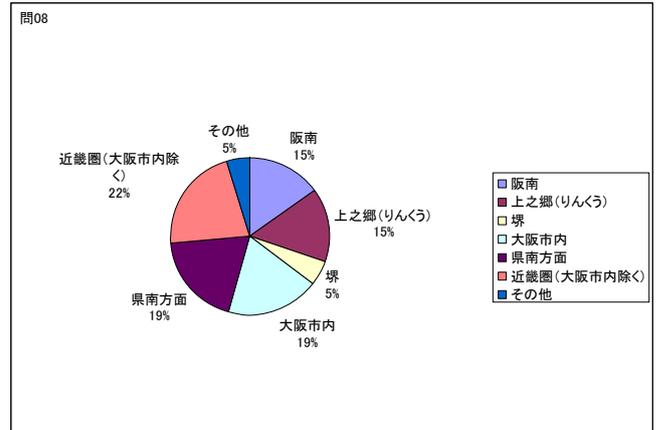
利用目的は、観光・レジャーが51%、次いで買物が22%となり、私用による利用が半数以上を占める結果となった。



問8 【阪和道を利用する方のみに質問】よく利用する目的地のインターチェンジはどこですか。

よく利用する目的地のインターチェンジとしては、近畿圏が22%となり、次いで県南方面、大阪市内という結果となった。

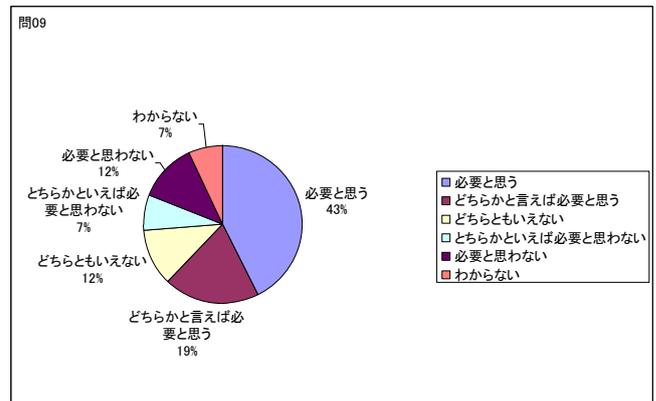
全体の結果と比べると、県南方面への利用がやや多いことが伺える。



問9 【すべての方に質問】(仮称)和歌山南インターチェンジを必要と思いますか。

(仮称)和歌山南インターチェンジの設置について、62%が必要(必要と思う、どちらかと言えば必要と思う)との回答であり、必要と思わない(必要と思わない、どちらかと言えば必要と思わない)の19%を大きく上回る結果となった。

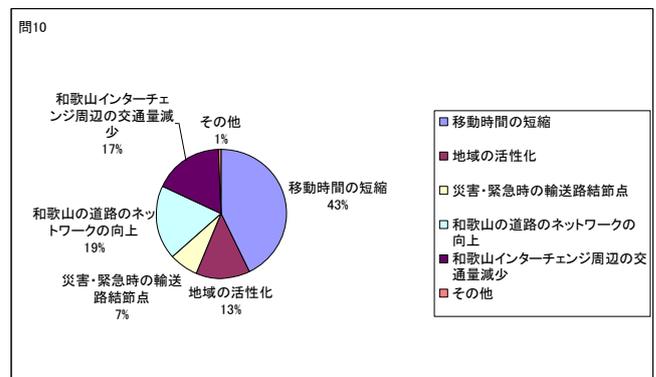
全体に比べ必要との見解が多いことから、生活圏にインターチェンジ設置を望む声が多いことが伺える。



問10 【問9で必要と思うと回答した方に質問】必要と思う理由で特に重要なものをお選びください。

必要と思う理由では、移動時間の短縮が43%となり、次いで道路ネットワークの向上が19%、和歌山インターチェンジ周辺交通量の減少が17%という結果となった。

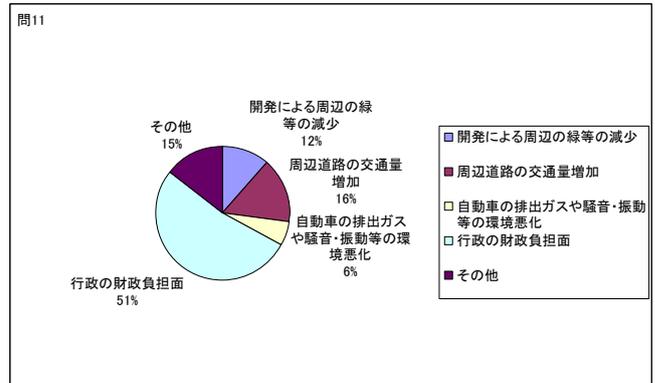
現状の和歌山インターチェンジまでの距離や渋滞等に不満があるため、利便性の向上が図れる意見が大半を占めたと考えられる。



問11 【問9で必要と思わないと回答した方に質問】必要と思わない理由で特に重要なものを選びください。

必要と思わない理由では、行政の財政負担面が51%と最も多く、次いで周辺道路の交通量増加を心配する意見が16%という結果となった。自由意見では、インターチェンジ設置よりも一般道路の整備を望むといったご意見があった。

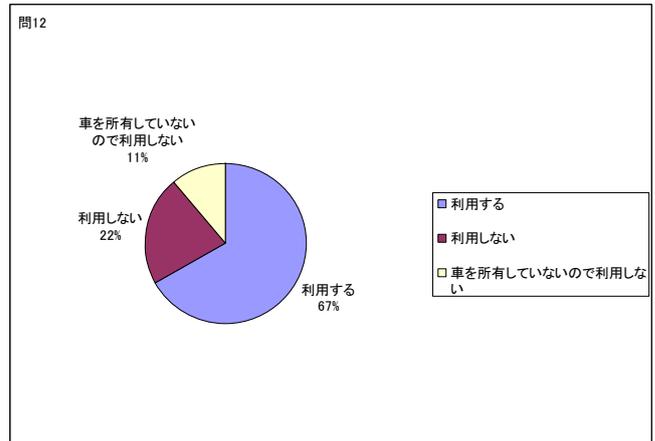
このことから、南東部・南部地域の道路整備を行い、交通量の分散化を図ることが望まれる。



問12 【すべての方に質問】もし(仮称)和歌山南インターチェンジが設置されれば利用しますか。

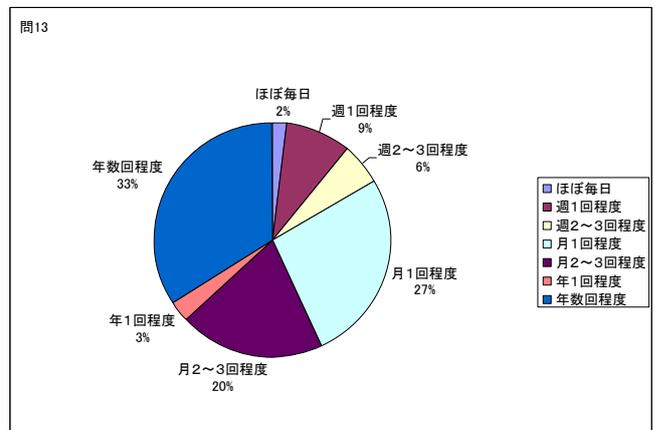
(仮称)和歌山南インターチェンジが設置された場合、約7割の方が利用する、約2割の方が利用しない、車を所有していないので利用しない方が1割となった。

問9の必要性では、62%が必要と回答しているのに対し、南インターチェンジ利用希望者が67%と増加していることから、設置されれば、現時点で「どちらともいえない・わからない」と回答した方が、利便性の向上により利用することが考えられる。



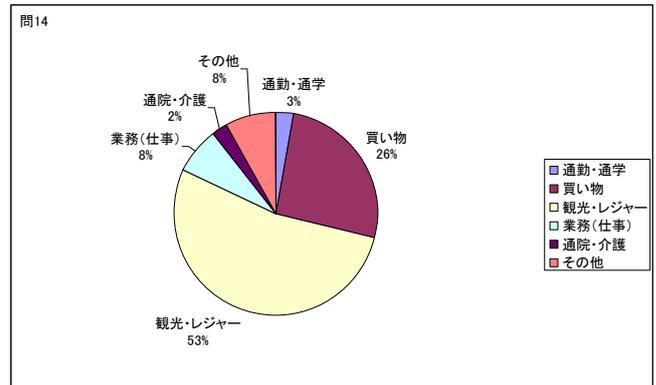
問13 【問12で利用すると回答した方に質問】どれくらいの頻度で利用されますか。

利用頻度は、前述の問6とほぼ同じ傾向だが、年数回程度の利用が高くなっている。



問14 【問12で利用すると回答した方に質問】その利用目的は何ですか。

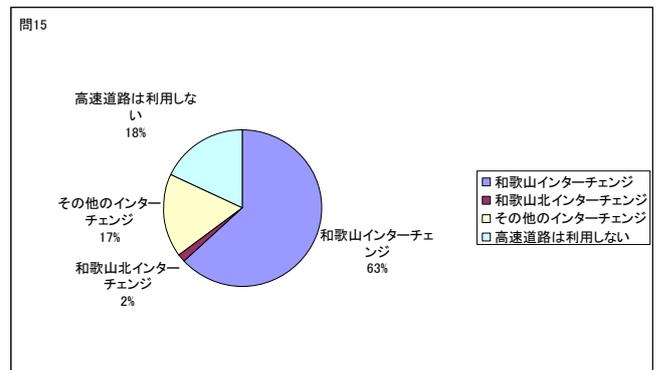
利用目的は、問7と比べ買い物や観光・レジャーといった私用による利用目的が増加した。その他のご意見では、帰省や友人訪問等が多い結果となった。



問15 【問12で利用しないと回答した方に質問】利用しない場合、どのインターチェンジを利用しますか。

現状で設置されている和歌山インターチェンジが63%と最も多い結果となった。

他の地域と比べ、和歌山北インターチェンジの利用割合は2%と低くなっている。居住地付近の方は、現状の道路網であると和歌山インターチェンジの方が利便性が高いと判断されたと考えられる。

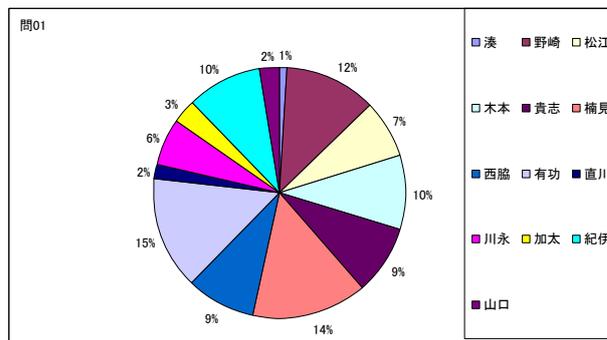


## 4. 北部地域アンケート調査結果

#### 4. 北部地域アンケート調査結果

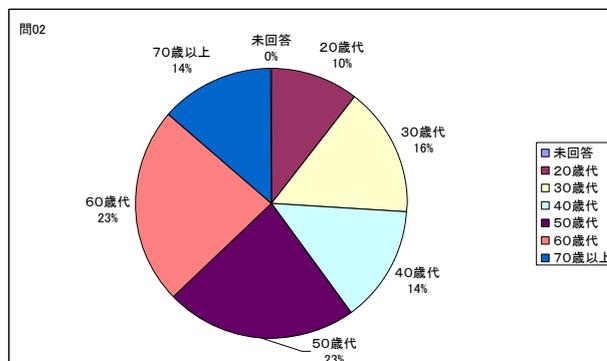
##### 問1 【すべての方に質問】お住まいの地域は

北部地域では、有功から15%、楠見14%、次いで野崎から多く回答を得た。



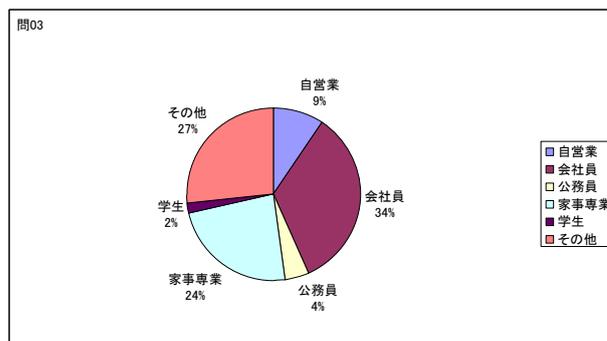
##### 問2 【すべての方に質問】年齢は

60歳以上が最も多く23%となり、続いて各年代ではほぼ均衡した割合となったが、20歳の回答は低く10%であった。



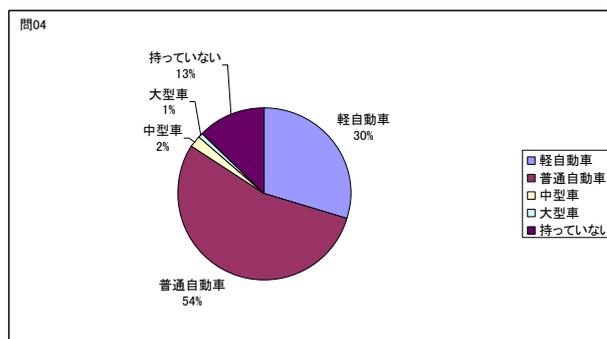
##### 問3 【すべての方に質問】職業は

職業は、会社員が全体の34%と最も多く、次いでその他、家事専業、自営業、公務員となっている。



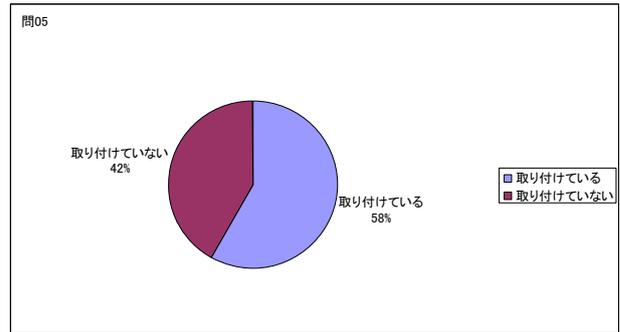
##### 問4 【すべての方に質問】所有されている車の車種は何ですか（主にご利用になる車）

主に利用する車種は、普通自動車54%、次いで軽自動車が30%となった。また、13%が車を所有していないとの回答であった。



問5 【車を所有している方のみ質問】お持ちの車にETCを取り付けていますか。

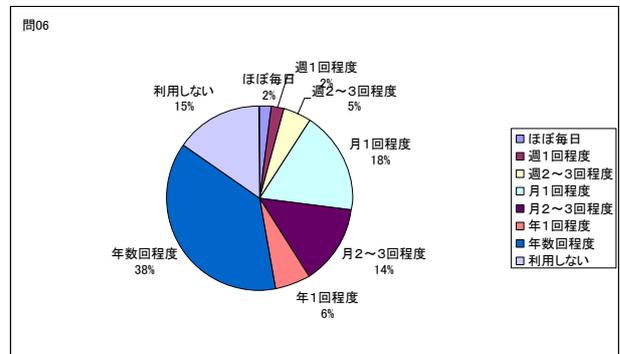
車を所有されている方で、ETCの搭載率は58%とETCを搭載している車の方が多い結果となったが、全体の結果と比べ、やや搭載率が低い状況にある。



問6 【車を所有している方のみ質問】近畿自動車道(阪和道)の利用頻度はどれくらいですか。

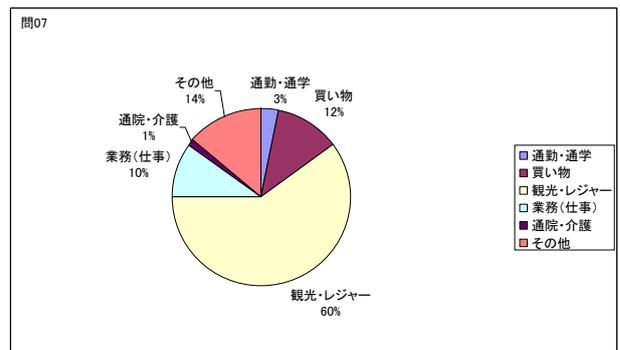
年数回程度が38%と最も多く、次いで月1回が18%、利用市内在が15%という結果となった。

全体の結果と比べ、高速道路の利用頻度が低い結果となった。



問7 【阪和道を利用する方のみ質問】その利用目的は何ですか。

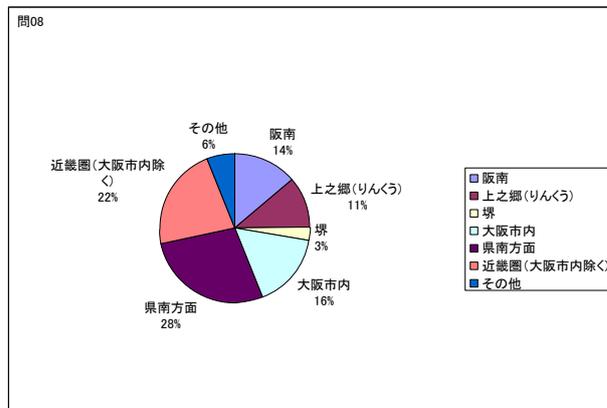
観光・レジャーが60%、買い物が12%となり、業務や通勤・通学等と比較すると、私用による利用が半数以上を占める結果となった。



問8 【阪和道を利用する方のみに質問】よく利用する目的地のインターチェンジはどこですか。

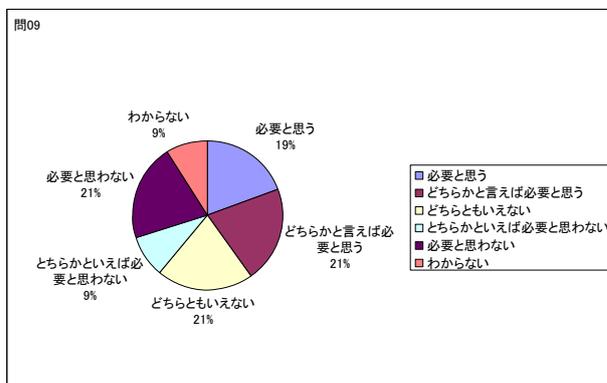
よく利用するインターチェンジは、大阪市内と大阪方面への利用が4割を占めた。

また近畿圏は22%、県南方面への利用は28%という結果となり、全体と比べ、県南方面への利用が多いことが伺える。



問9 【すべての方に質問】(仮称)和歌山南インターチェンジを必要と思いますか。

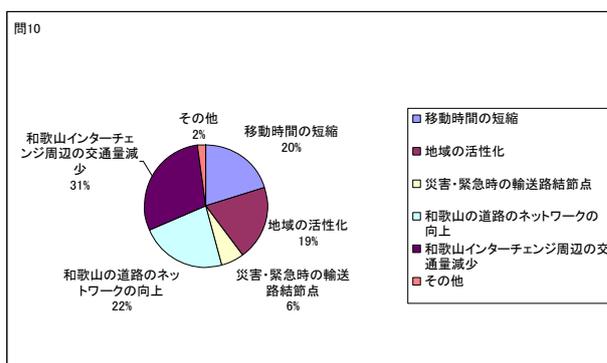
他地域と比較し、北部についてはどちらもとも言えないが21%と高くなっており、これはすでに生活圏に和歌山北インターチェンジがあるためと思われる。



問10 【問9で必要と思うと回答した方に質問】必要と思う理由で特に重要なものをお選びください。

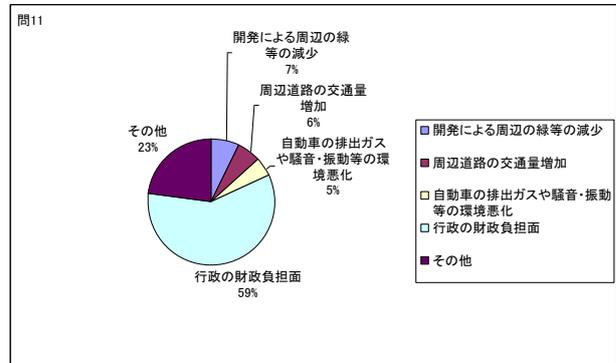
必要と思う理由として、和歌山インターチェンジ周辺の交通量減少が31%、道路ネットワークの向上が22%、移動時間の短縮が20%となった。

全体及び南東部・南部地域の結果と比べ、利用するインターチェンジの違いにより、和歌山インターチェンジ周辺道路の交通量減少という回答が多くなったと考えられる。



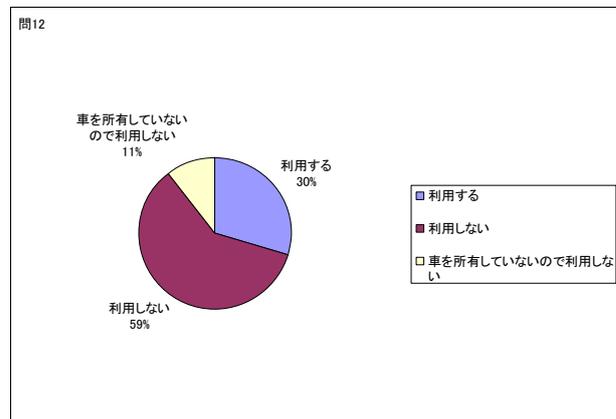
問 1 1 【問 9 で必要と思わないと回答した方に質問】必要と思わない理由で特に重要なものを選びください。

必要と思わない理由では、行政の財政負担面が 59% と財政の悪化を懸念する声が全体の半数を占め、他地域に比べ自動車の排出ガスや騒音・振動等の環境悪化が 5% と、環境への関心も高い。



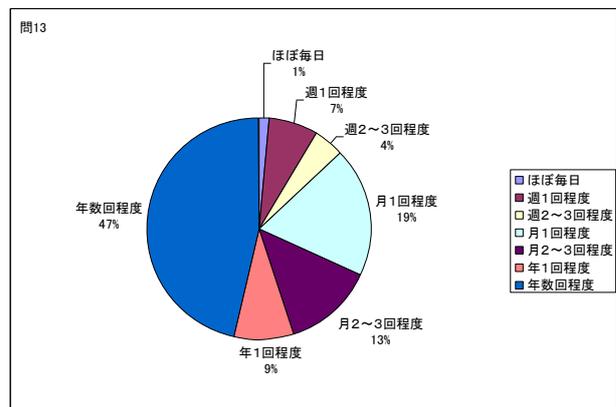
問 1 2 【すべてのの方に質問】もし(仮称)和歌山南インターチェンジが設置されれば利用しますか。

(仮称)和歌山南インターチェンジが設置された場合、利用しない方が 59% と他の地域と比べて高くなっているが、これは北部の方については最寄りの和歌山北インターチェンジを利用するためと考えられる。



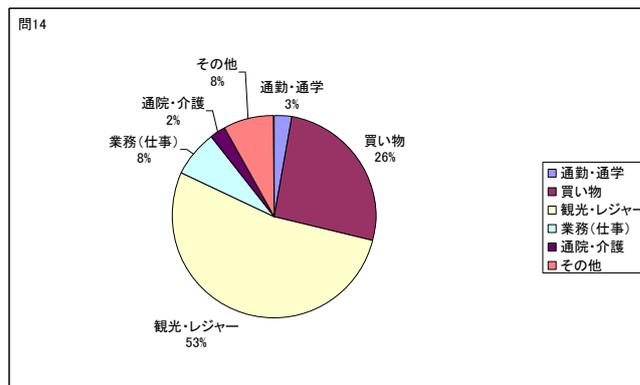
問 1 3 【問 1 2 で利用すると回答した方に質問】どれくらいの頻度で利用されますか。

利用頻度については、ほぼ前述の問 6 と同じ傾向だが、全体的に割合が上昇し、利用頻度が上がっていることがわかる。



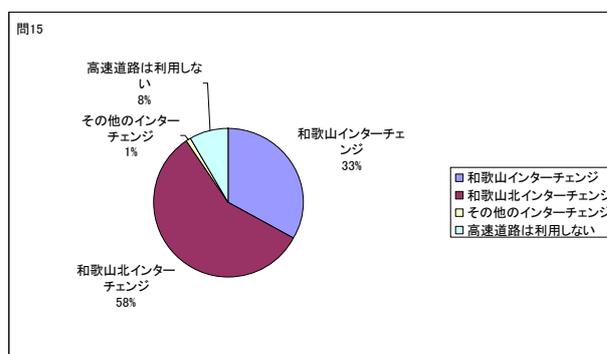
問14 【問12で利用すると回答した方に質問】その利用目的は何ですか。

利用目的は、問7と比べ観光・レジャー、買い物という目的が減少し、その他の意見が多くなった。その他のご意見では、帰省や友人訪問等が多い結果となった。



問15 【問12で利用しないと回答した方に質問】利用しない場合、どのインターチェンジを利用しますか。

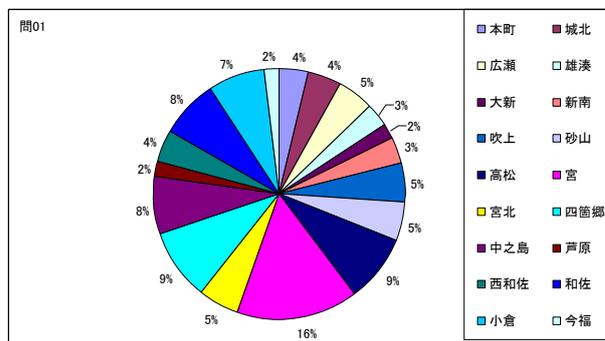
利用するインターチェンジについては、最寄りの和歌山北インターチェンジが58%と、最も多い結果となった。



## 5. 中心部・東部地域アンケート調査結果

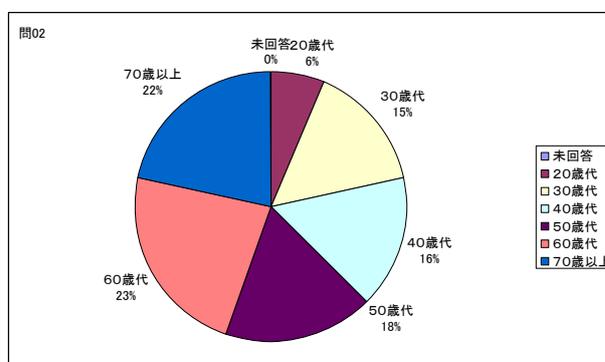
問1 【すべての方に質問】お住まいの地域は

回答のあった地域のうち、宮が16%、次いで、高松、四箇郷という結果となった。



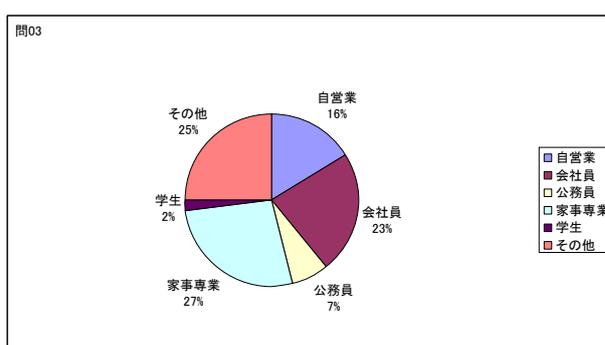
問2 【すべての方に質問】年齢は

年齢別に見ると60歳が23%、70歳以上が22%となり、次いで50歳代、40歳代と続き、20歳代は6%と低くなった。



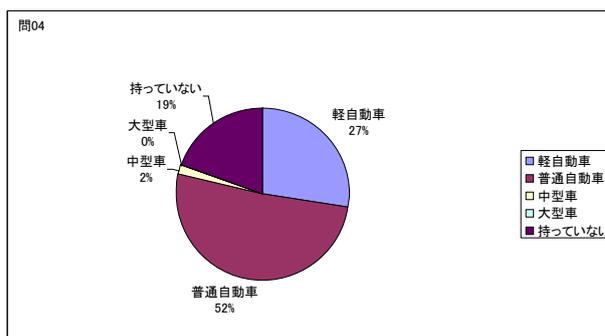
問3 【すべての方に質問】職業は

職業については、家事専業が全体の27%と最も多く、次いで、その他、会社員、自営業、公務員と続く結果となった。



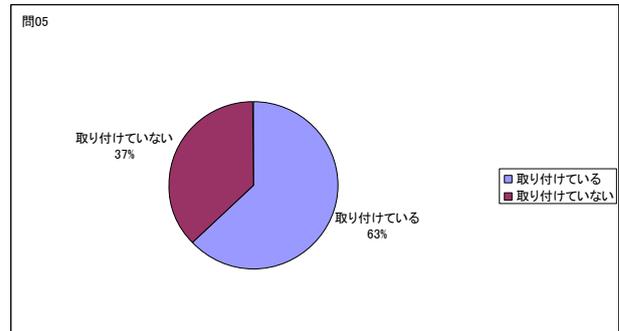
問4 【すべての方に質問】所有されている車の車種は何ですか（主にご利用になる車）

主に利用する車種は普通自動車が52%、軽自動車は27%となり、車を持っていない方は19%となった。



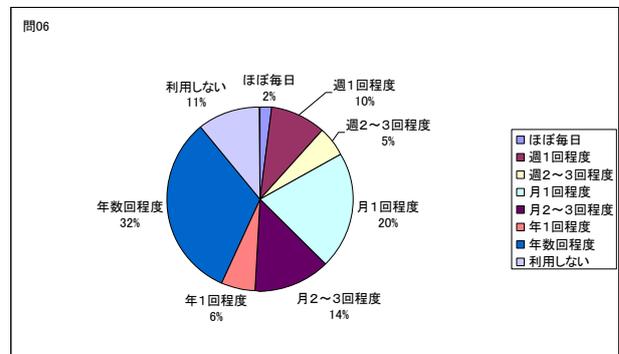
問5 【車を所有している方のみ質問】お持ちの車にETCを取り付けていますか。

車を所有されている方で、ETCを搭載している割合は63%となり、ETCを搭載している車の方が多い結果となった。



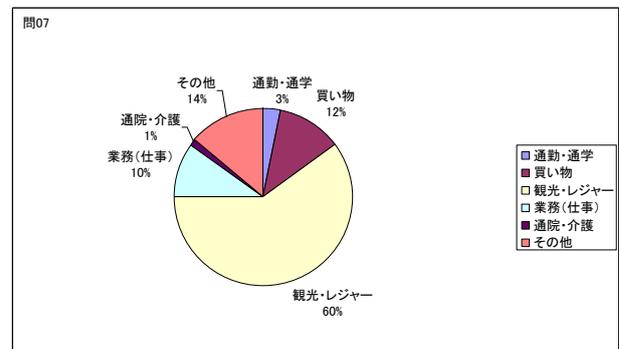
問6 【車を所有している方のみ質問】近畿自動車道(阪和道)の利用頻度はどれくらいですか。

利用頻度については、最も多い回答が年数回程度で32%、月1回程度が20%、次いで月2~3回が14%という結果となった。



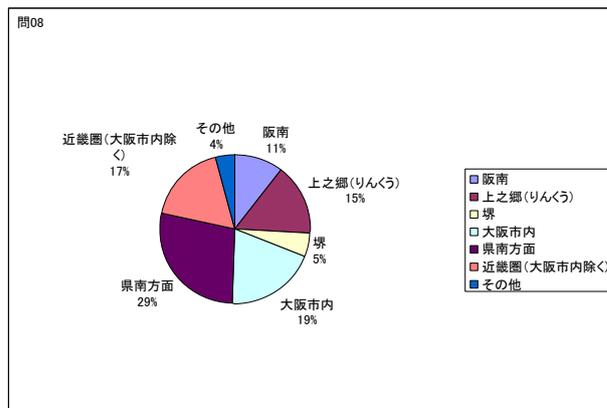
問7 【阪和道を利用する方のみ質問】その利用目的は何ですか。

利用目的は、観光・レジャーが60%、買い物12%、業務(仕事)10%となり、私用による利用が大半を占める結果となった。



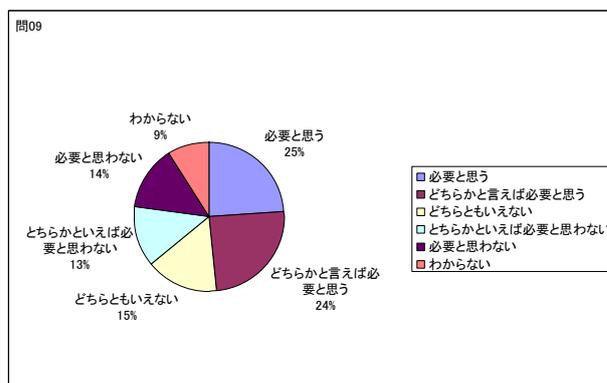
問8 【阪和道を利用する方のみに質問】よく利用する目的地のインターチェンジはどこですか。

よく利用するインターチェンジについては、他の地域と比べると県南方面が29%と、やや高くなっており、次いで大阪方面、近畿圏という結果となった。



問9 【すべての方に質問】(仮称)和歌山南インターチェンジを必要と思いますか。

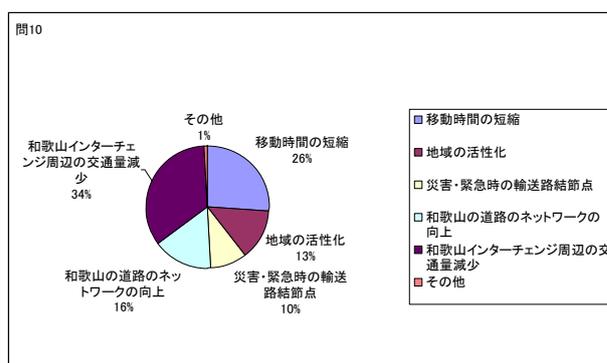
49%が必要と思う(必要と思う、どちらかといえば必要と思う)との回答となり、必要と思わない(必要と思わない、どちらかといえば必要と思わない)との回答が27%となった。



問10 【問9で必要と思うと回答した方に質問】必要と思う理由で特に重要なものをお選びください。

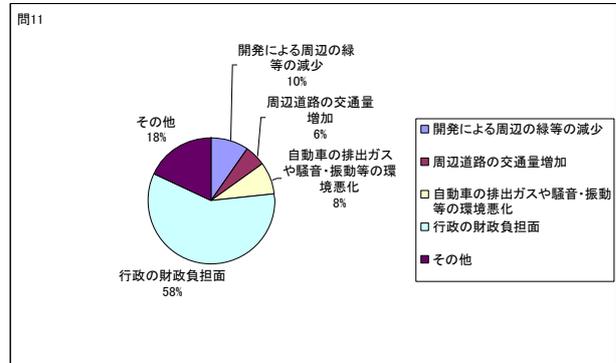
必要と思う理由としては、和歌山インターチェンジ周辺の交通量減少が34%と最も多く、次いで移動時間の短縮が26%、和歌山の道路のネットワークの向上が16%となった。

このことから、最寄りの和歌山インターチェンジ周辺道路の交通渋滞を問題視しており、南インターチェンジの設置による渋滞緩和に期待していることが考えられる。



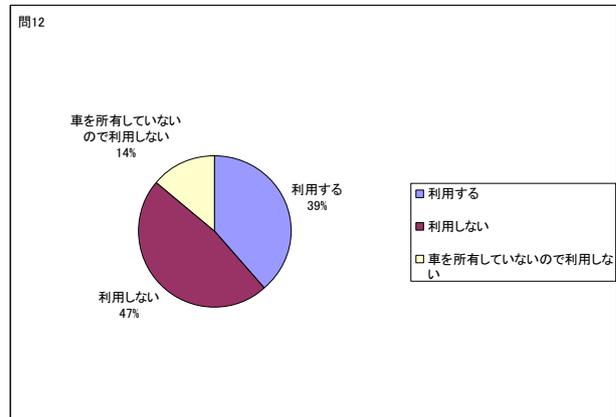
問11 【問9で必要と思わないと回答した方に質問】必要と思わない理由で特に重要なものを選びください。

必要と思わない理由としては、他地域と同じく行政の財政負担面が58%と高く、また、開発による周辺の緑等の減少が10%と環境悪化を懸念する声が多かった。



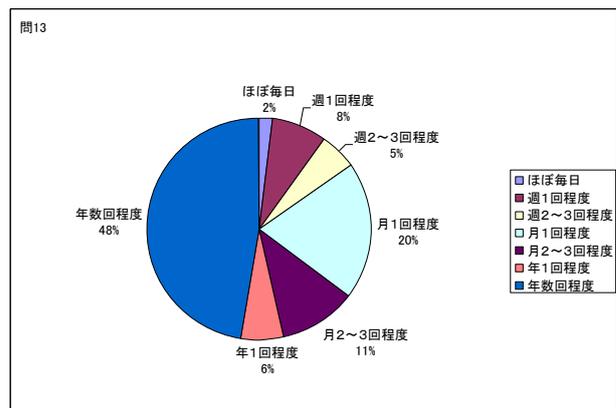
問12 【すべてのの方に質問】もし(仮称)和歌山南インターチェンジが設置されれば利用しますか。

利用しないとの回答が47%と利用するとの回答よりも上回る結果となった。これは、最寄りに和歌山インターチェンジがあるためと考えられる。



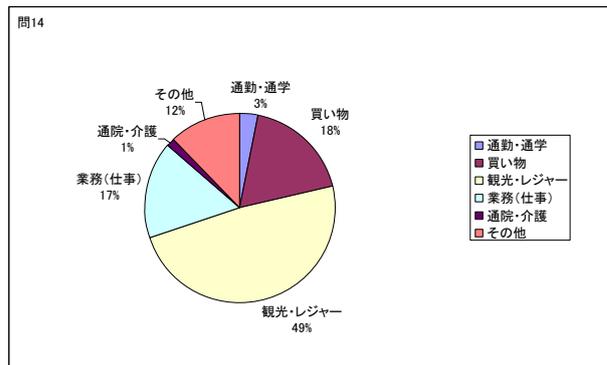
問13 【問12で利用すると回答した方に質問】どれくらいの頻度で利用されますか。

利用頻度については、ほぼ前述の問6と同じ傾向だが、年数回程度が48%と高くなり、高速道路の利用意欲が高くなる結果となった。



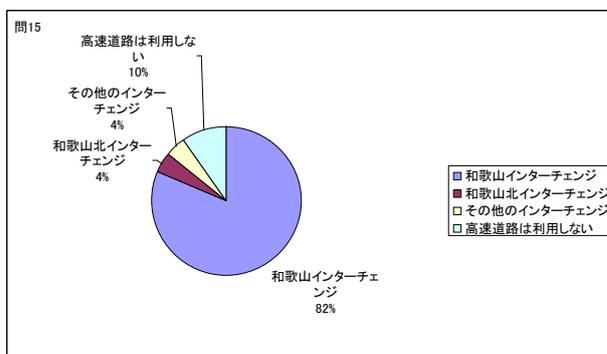
問14 【問12で利用すると回答した方に質問】その利用目的は何ですか。

利用目的は、問7と比べると業務（仕事）が17%となり、市内アクセスの向上を期待し、業務利用を検討する方が多くなったと思われる。



問15 【問12で利用しないと回答した方に質問】利用しない場合、どのインターチェンジを利用しますか。

最寄りの和歌山インターチェンジが82%と、最も多い結果となった。

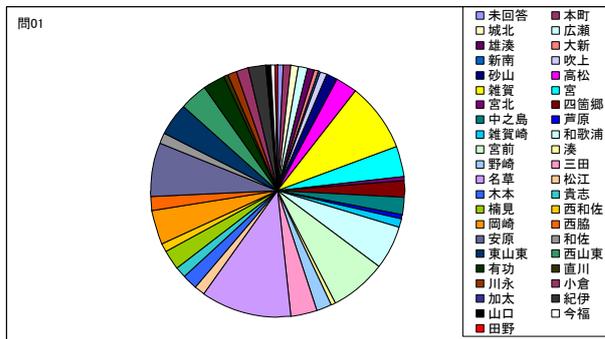


## **6. クロス集計（南インターチェンジは必要と回答）**

問9で必要と回答した調査票を抽出し、集計しました。

問1 【すべての方に質問】お住まいの地域は

回答のあった地域で、特に名草地区が11%、次いで安原、宮前地区の7%という結果となった。



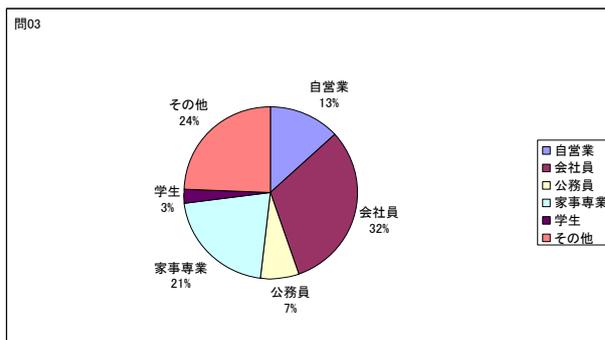
問2 【すべての方に質問】年齢は

年齢別では、50歳代以上の方が6割を占める結果となり、30歳代、40歳代はほぼ均衡しているが、20歳代の回答は低く9%であった。



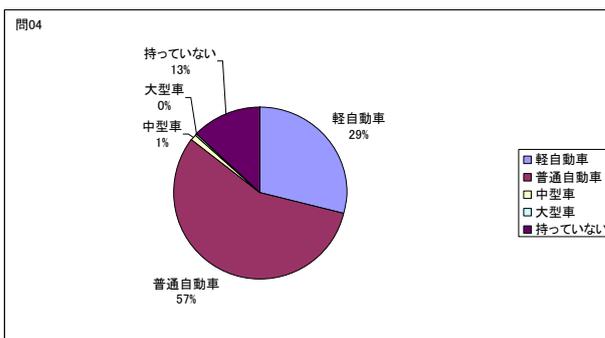
問3 【すべての方に質問】職業は

会社員が全体の32%と最も多く、次いでその他、家事専業、自営業となった。



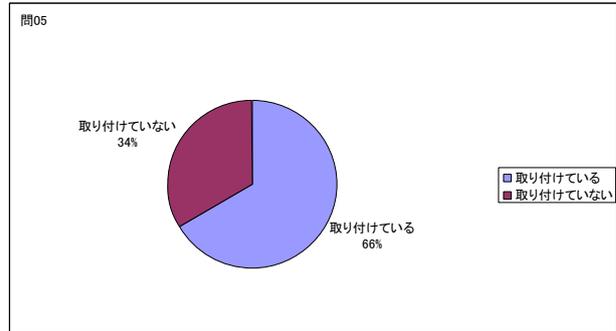
問4 【すべての方に質問】所有されている車の車種は何ですか（主にご利用になる車）

主に利用する車種は普通自動車（乗用車）が57%となり、軽自動車は29%という結果となった。



問5 【車を所有している方のみ質問】お持ちの車にETCを取り付けていますか。

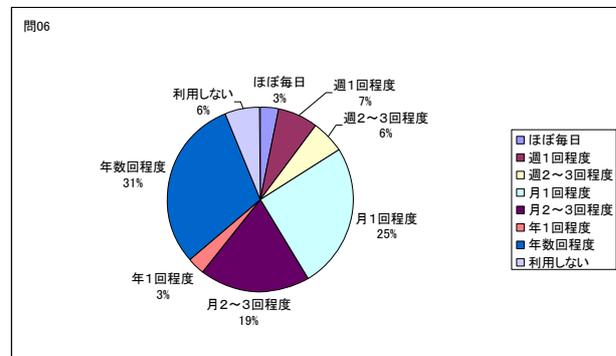
ETC搭載率は66%となり、過半数が搭載済みという結果となった。



問6 【車を所有している方のみ質問】近畿自動車道(阪和道)の利用頻度はどれくらいですか。

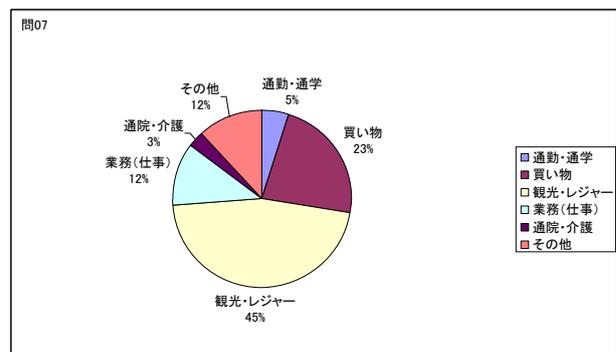
利用頻度では、最も多い回答が年数回程度で31%、次いで月1回が25%、月2～3回が19%という結果となった。

全体の結果と比べると、利用頻度が高い傾向にあるといえる。



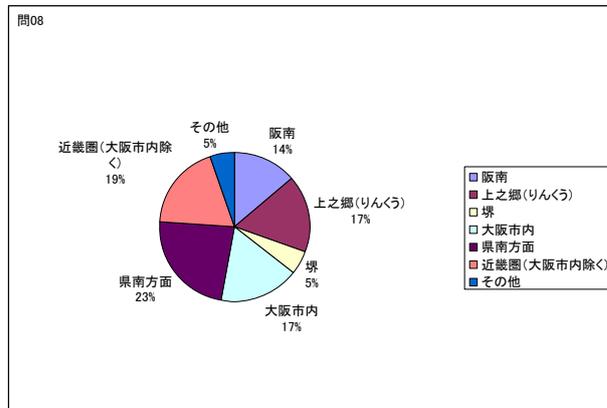
問7 【阪和道を利用する方のみ質問】その利用目的は何ですか。

利用目的は高い順から観光・レジャーが45%、買い物が23%、仕事が12%という結果となった。



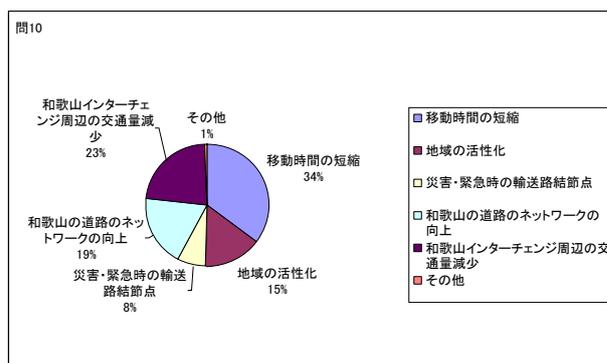
問8 【阪和道を利用する方のみに質問】よく利用する目的地のインターチェンジはどこですか。

利用する目的地のインターチェンジでは県南方面が23%、近畿圏が19%、大阪市内・上之郷が17%という結果となった。



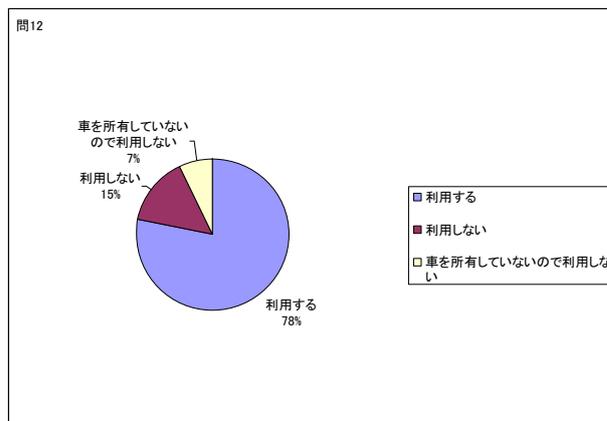
問10 【問9で必要と思うと回答した方に質問】必要と思う理由で特に重要なものをお選びください。

必要と思う理由として、移動時間の短縮が34%と最も高く、次いで和歌山の道路のネットワークの向上が19%となり、インターチェンジ増設による利便性の向上を重視していることがわかる結果となった。



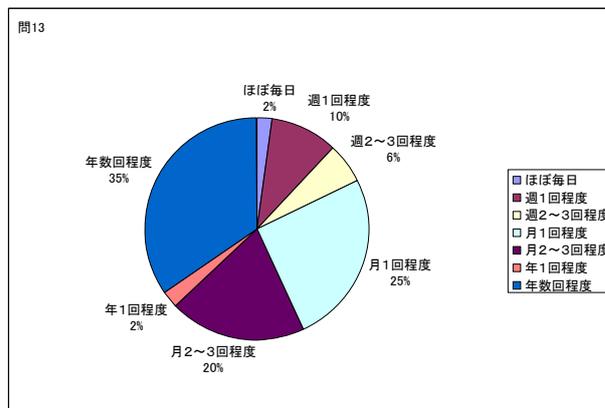
問12 【すべての方に質問】もし(仮称)和歌山南インターチェンジが設置されれば利用しますか。

(仮称)和歌山南インターチェンジが設置された場合、利用する人が78%とおよそ8割の方が利用したいと考えている結果となった。



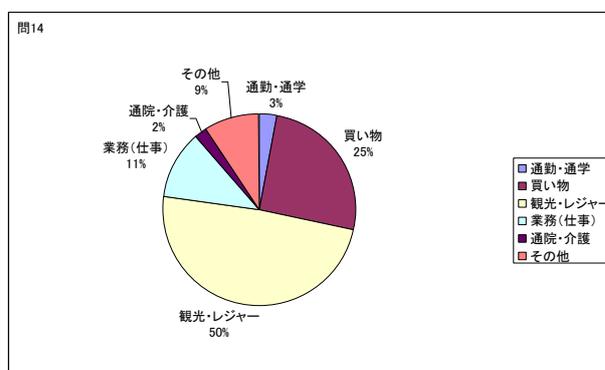
問13 【問12で利用すると回答した方に質問】 どれくらいの頻度で利用されますか。

ほぼ前述の問6と同じ傾向だが、他の和歌山インターチェンジ、和歌山北インターチェンジがある中で、南インターチェンジを利用する頻度が高いことが伺える。



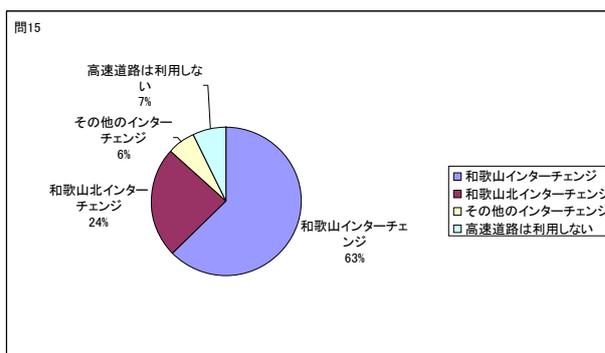
問14 【問12で利用すると回答した方に質問】 その利用目的は何ですか。

利用目的は、問7と比べると観光・レジャー、買い物の割合がやや高くなり、私用目的に活用したいと考えている方が多いという結果となった。



問15 【問12で利用しないと回答した方に質問】 利用しない場合、どのインターチェンジを利用しますか。

利用するインターチェンジについては、和歌山インターチェンジが63%と、和歌山北インターチェンジが24%という結果となり、回答地域を考慮すると居住地直近のインターチェンジを利用していることが考えられる。



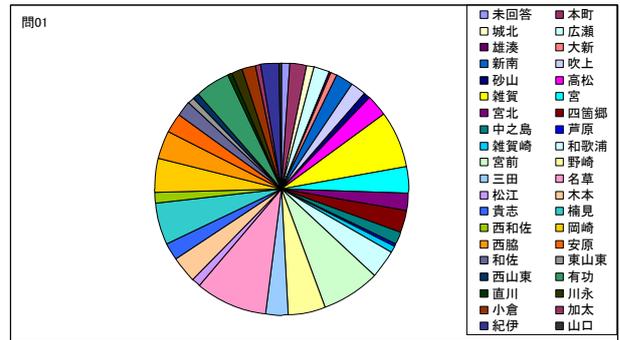


## **7. クロス集計（南インターチェンジは不要と回答）**

問9で必要と思わないと回答した調査票を抽出し、集計しました。

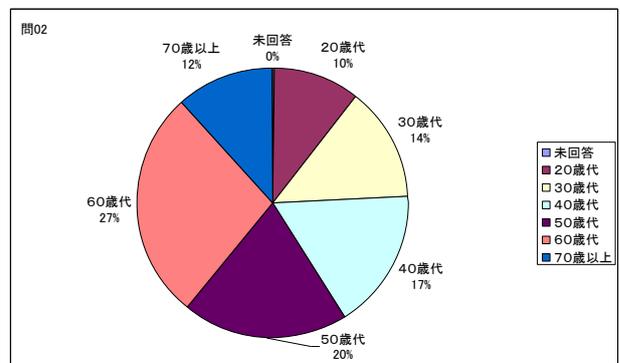
問1 【すべての方に質問】 お住まいの地域は

特に回答が多かった地域は、名草が9%、その他は雑賀、宮前の7%という結果となった。



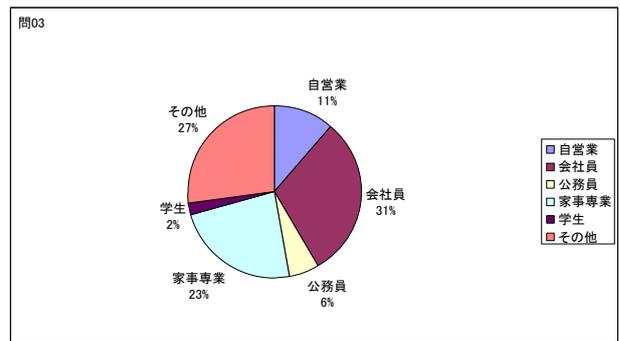
問2 【すべての方に質問】 年齢は

年齢別では、60歳代の方が最も多く27%となり、次いで50歳代、40歳代となった。20歳代の回答は10%と低い結果となった。



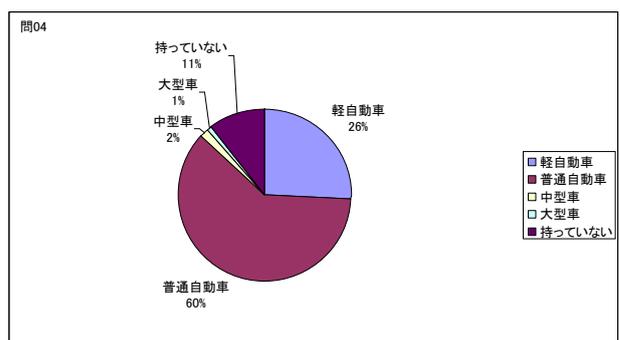
問3 【すべての方に質問】 職業は

職業別では会社員が全体の31%を占め、次いでその他、家事専業、自営業、公務員と続く結果となった。



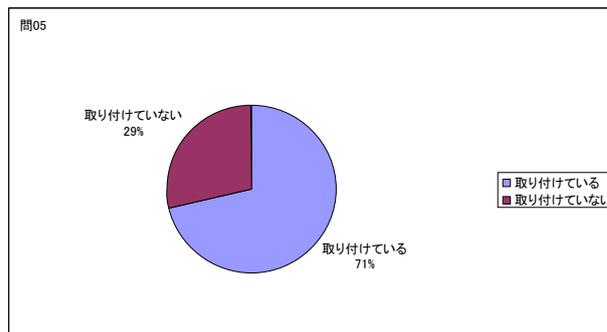
問4 【すべての方に質問】 所有されている車の車種は何ですか（主にご利用になる車）

主に利用する車種は普通自動車（乗用車）が60%となり、次いで軽自動車は26%となった。また、持っていないと回答された方は11%という結果となった。



## 問5 【車を所有している方のみ質問】お持ちの車にETCを取り付けていますか。

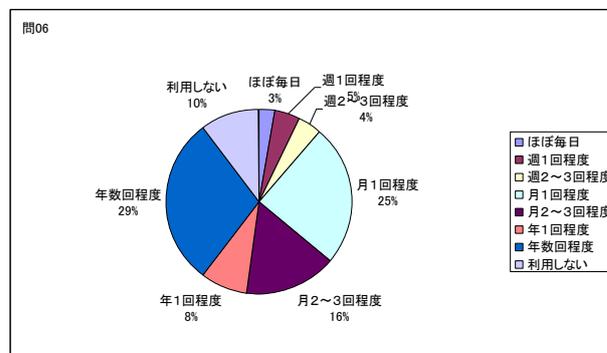
ETC搭載率は71%となり、ほぼ大半の方が車にETCを搭載しているという結果となった。



## 問6 【車を所有している方のみ質問】近畿自動車道(阪和道)の利用頻度はどれくらいですか。

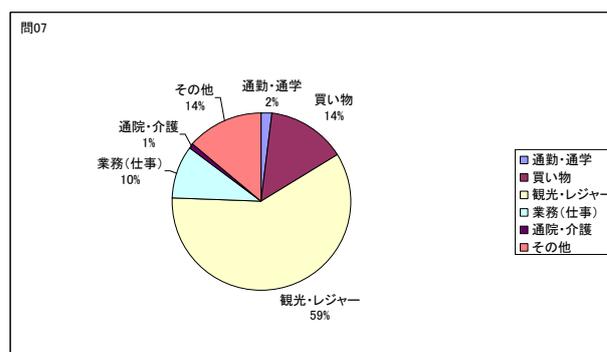
最も多い回答が年数回程度で29%、次いで月1回、月2～3回程度と続く結果となった。

必要であるとの回答のクロス集計結果と比べ、やや利用頻度が少ない結果となった。



## 問7 【阪和道を利用する方のみ質問】その利用目的は何ですか。

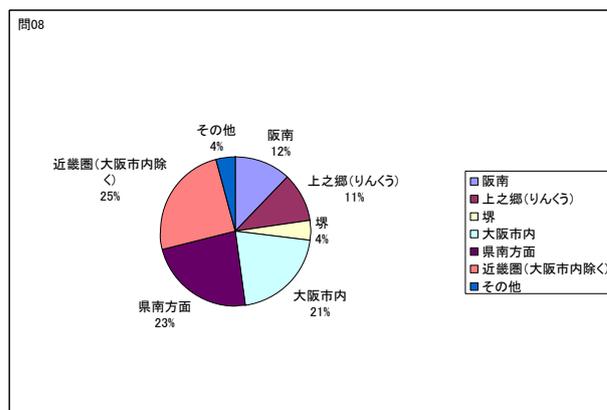
利用目的は観光・レジャーが59%、買い物14%、その他14%という結果となった。



問8 【阪和道を利用する方のみに質問】よく利用する目的地のインターチェンジはどこですか。

よく利用する目的地のインターチェンジは、近畿圏が25%、次いで紀南方面が23%、大阪市内の21%という結果となった。

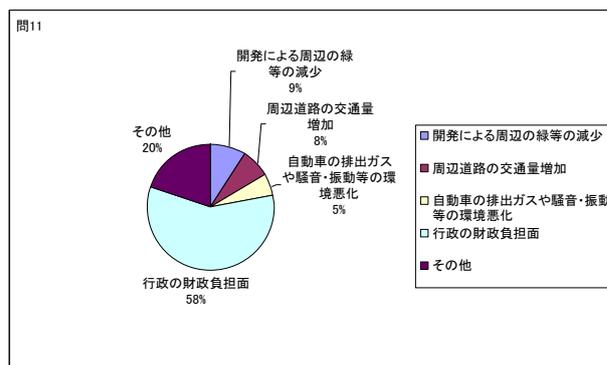
必要であるとの回答のクロス集計結果と比べ、近畿圏や大阪市内といった遠距離利用が多いことが伺える。



問11 【問9で必要と思わないと回答した方に質問】必要と思わない理由で特に重要なものを選びください。

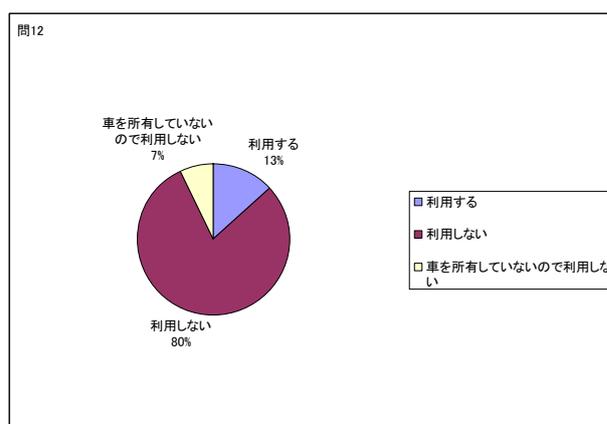
行政の財政負担が58%と最も高い結果となった。

その他の意見としては、車の購入人口の減少、一般道の混雑とインターチェンジは関係ない、市内の未改良区間が優先されるべきであるといったご意見があった。



問12 【すべての方に質問】もし(仮称)和歌山南インターチェンジが設置されれば利用しますか。

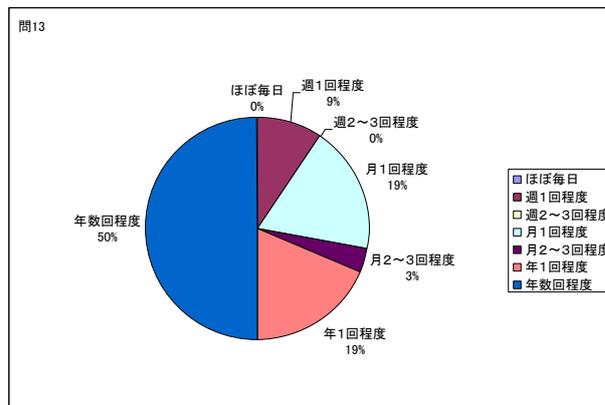
必要性がないとの回答によるクロス集計であることから、インターチェンジが設置されても利用しないという回答が80%となったが、それでも設置されれば利用するという回答が13%という結果となり、問11の行政の財政負担等の課題を考慮しながらも、利便性が向上することにより利用するとの回答となったものと考えられる。



## 問13 【問12で利用すると回答した方に質問】どれくらいの頻度で利用されますか。

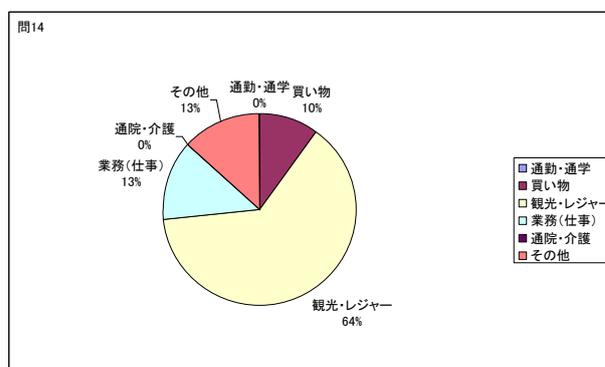
利用頻度は、最も多い回答が、年数回程度の50%という結果となった。次いで、月1回、年1回程度との回答が19%となった。

必要と思わないが、利用する意向のある方は、高速道路の利用頻度が少ないことが伺える。



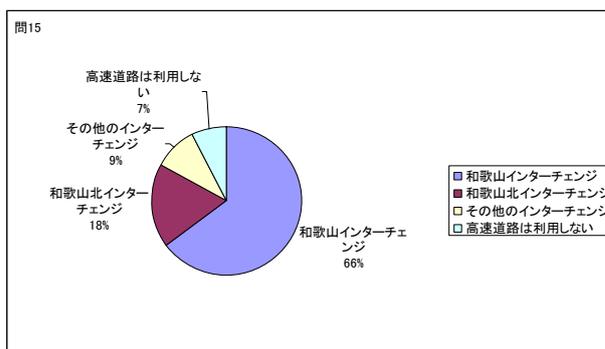
## 問14 【問12で利用すると回答した方に質問】その利用目的は何ですか。

利用目的は、問7と比べると観光・レジャーの割合が64%と高くなり、私用目的に活用したいと考えている方が多いという結果となった。



## 問15 【問12で利用しないと回答した方に質問】利用しない場合、どのインターチェンジを利用しますか。

利用するインターチェンジについては、和歌山インターチェンジが66%、和歌山北インターチェンジが18%という結果となり、回答地域を考慮すると居住地直近のインターチェンジを利用していることが考えられる。





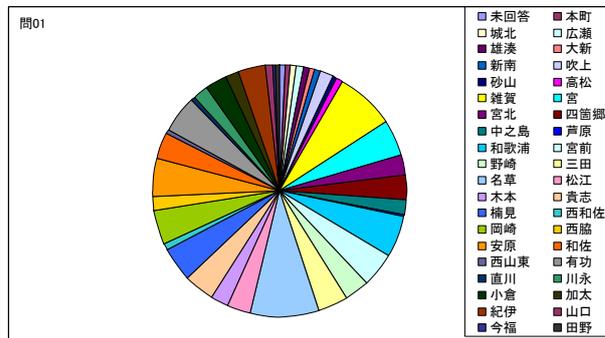
## 8. クロス集計

(南インターチェンジ設置はどちらともいえない・わからないと回答)

問9でどちらともいえない・わからないと回答した調査票を抽出し、集計しました。

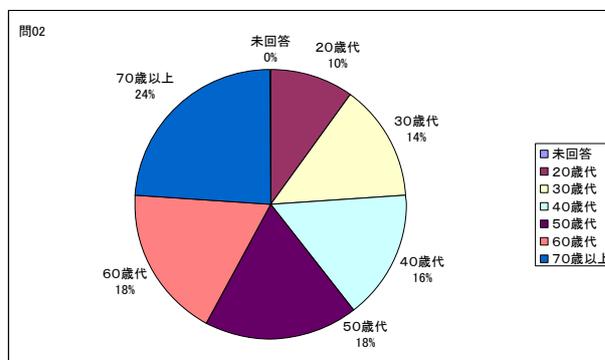
問1 【すべての方に質問】 お住まいの地域は

特に回答が多かった地域は、名草が9%、その他は雑賀、宮前の7%という結果となった。



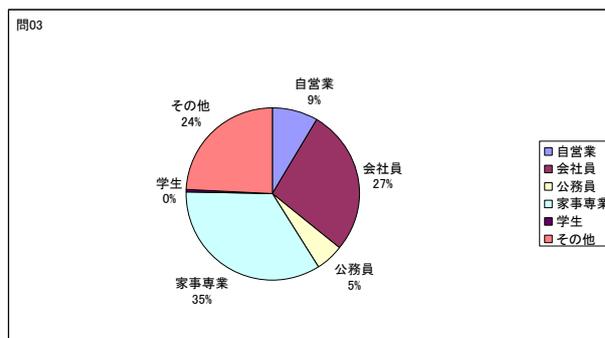
問2 【すべての方に質問】 年齢は

年齢別では、50歳代以上の方が6割を占め、40歳代以下が4割、その内20歳代が10%となった。



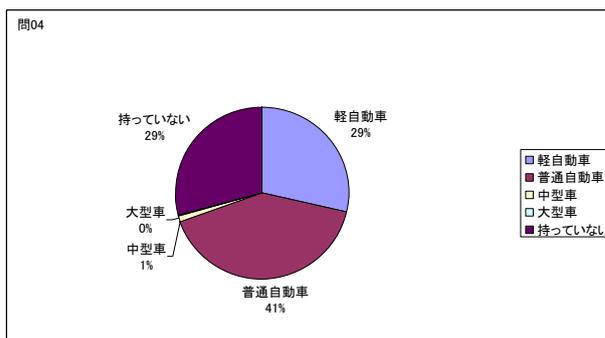
問3 【すべての方に質問】 職業は

職業別では、家事専業が35%と最も多くなり、次いで会社員、その他となった。



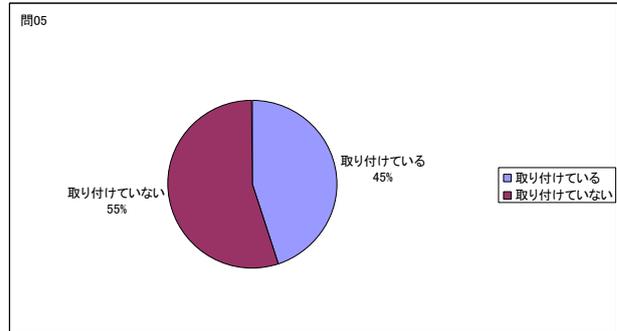
問4 【すべての方に質問】 所有されている車の車種は何ですか（主にご利用になる車）

主に利用する車種は普通自動車41%、軽自動車29%となったが、持っていないという回答も29%となり、車を所有していないことから、インターチェンジの設置について、どちらともいえない。わからないとの回答となったと考えられる。



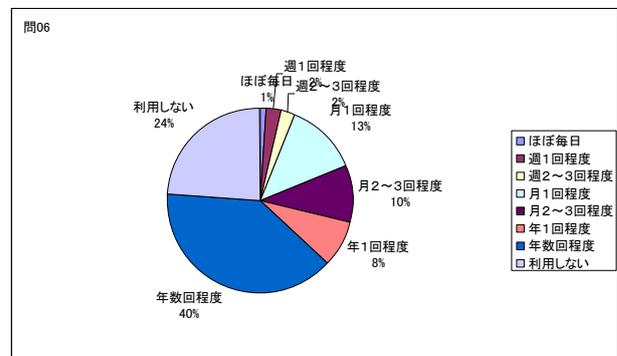
問5 【車を所有している方だけに質問】お持ちの車にETCを取り付けていますか。

今回のアンケートでのETC搭載率は45%となり、取り付けていない方は55%という結果となった。



問6 【車を所有している方だけに質問】近畿自動車道(阪和道)の利用頻度はどれくらいですか。

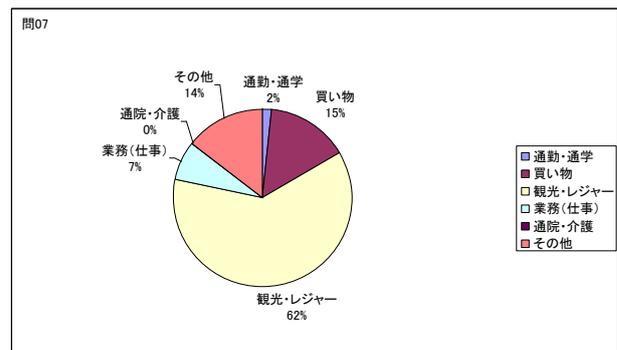
最も多い回答が年数回程度で40%、次いで利用しないの24%となった。前の設問と合わせ、高速道路をあまり利用しない方が多いことが伺える。



問7 【阪和道を利用する方だけに質問】その利用目的は何ですか。

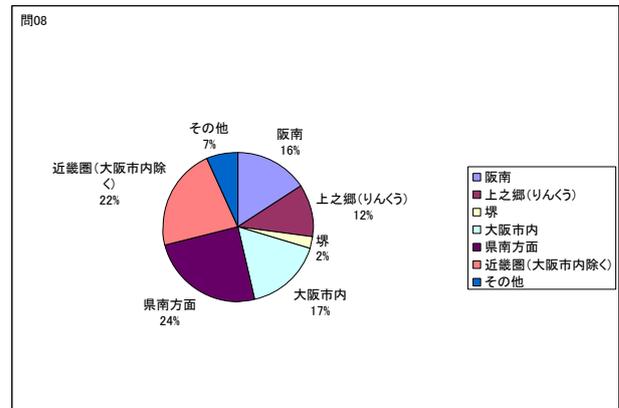
利用目的は観光・レジャーが62%と、大半を占める結果となった。

その他、高齢、主婦のため高速道路は利用しないといったご意見があった。



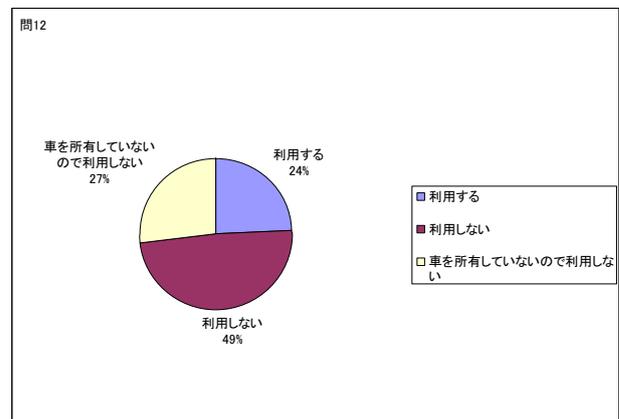
問8 【阪和道を利用する方のみに質問】よく利用する目的地のインターチェンジはどこですか。

よく利用するインターチェンジとしては、県南方面が24%と最も多く、次いで近畿圏、大阪市内という結果となった。



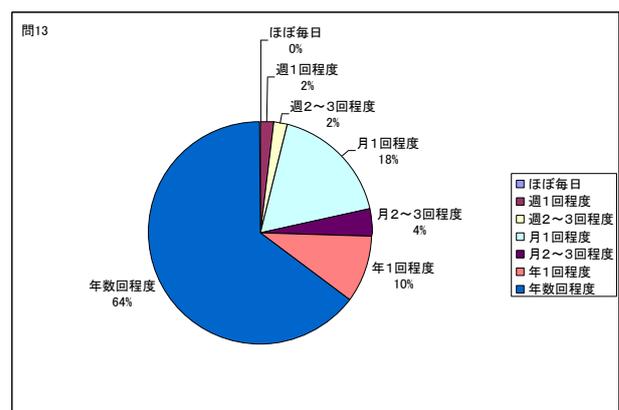
問12 【すべての方に質問】もし(仮称)和歌山南インターチェンジが設置されれば利用しますか。

利用しない方が49%、車を所有していないので利用しないという結果となり、高速道路をあまり利用しない、車を所有していないことから、利用意思が低くなったものと考えられる。



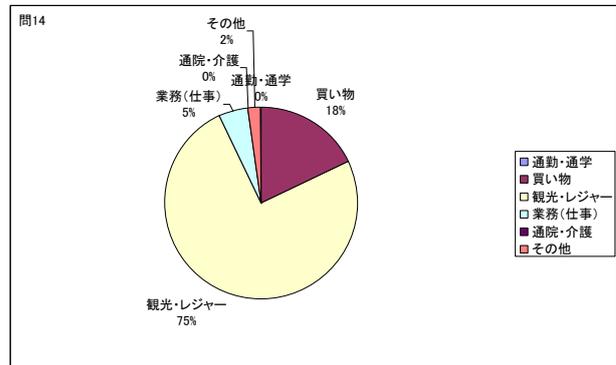
問13 【問12で利用すると回答した方に質問】どれくらいの頻度で利用されますか。

ほぼ前述の問6と同じ傾向で、年数回程度が64%、月1回程度が18%となり、他の結果と比べ、利用頻度が低い結果となった。



問14 【問12で利用すると回答した方に質問】その利用目的は何ですか。

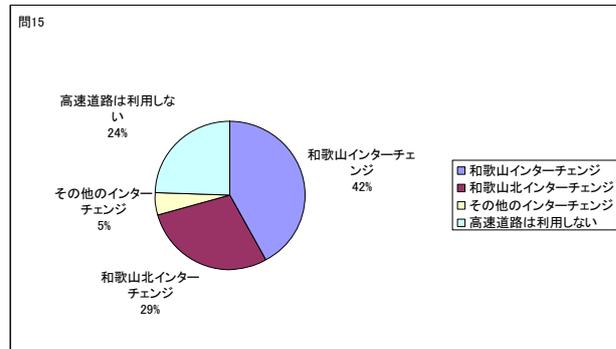
利用目的は、観光・レジャーが75%と大多数を占め、私用目的に活用したいと考えている方が多いという結果となった。



問15 【問12で利用しないと回答した方に質問】利用しない場合、どのインターチェンジを利用しますか。

高速道路は利用しないという回答が24%という結果となった。

これまでの回答からも車を所有しない、または高速道路を利用しない（近場のみ）という方が設置の是非について判断しかねているといったことが考えられる。



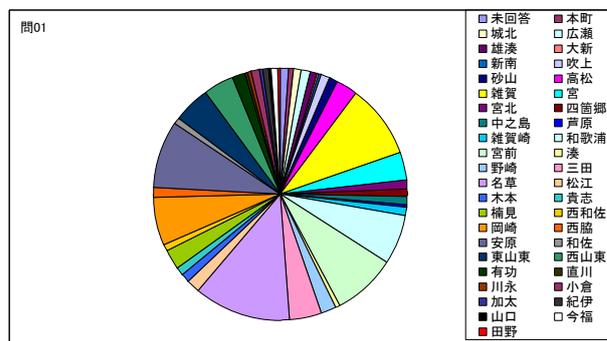


## 9. クロス集計（南インターチェンジを利用すると回答）

問12で利用すると回答した調査票を抽出し、集計しました。

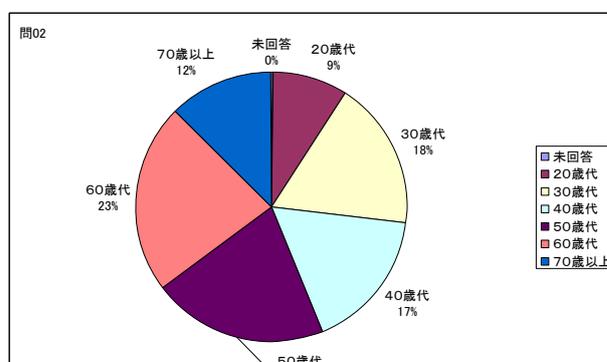
問1 【すべての方に質問】お住まいの地域は

地域別では、名草が12%、次いで雑賀、宮前、安原という結果となった。



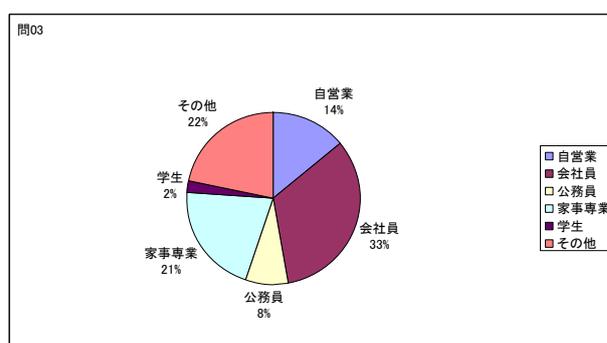
問2 【すべての方に質問】年齢は

年代別では、50歳代以上の方が6割を占め、40歳代以下が4割、その内20歳代が9%となった。



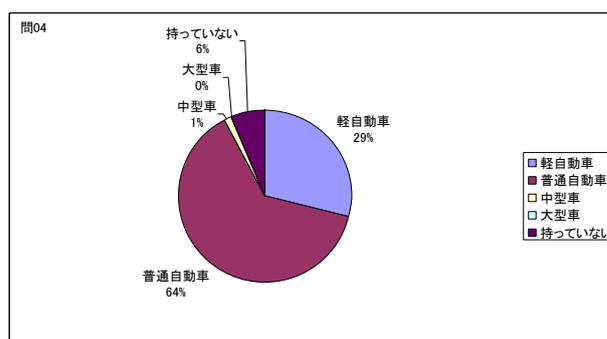
問3 【すべての方に質問】職業は

職業別では、会社員が全体の33%と最も多く、ついでその他、家事専業、自営業、公務員という結果となった。



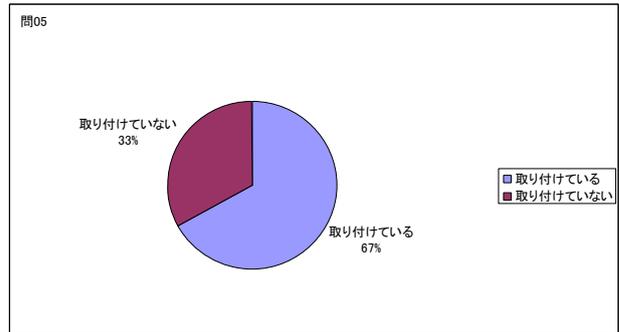
問4 【すべての方に質問】所有されている車の車種は何ですか（主にご利用になる車）

主に利用する車種は普通自動車64%となり、軽自動車は29%という結果となった。



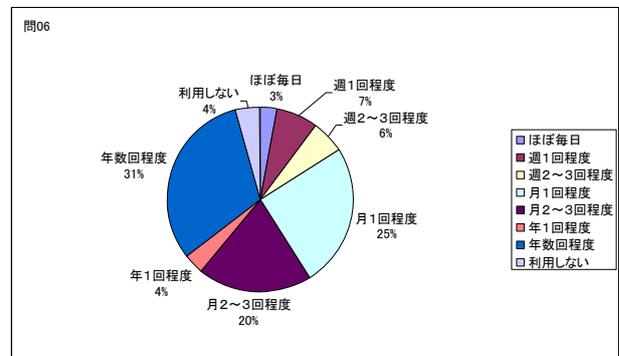
問5 【車を所有している方だけに質問】お持ちの車にETCを取り付けていますか。

ETC搭載率は67%という結果となった。



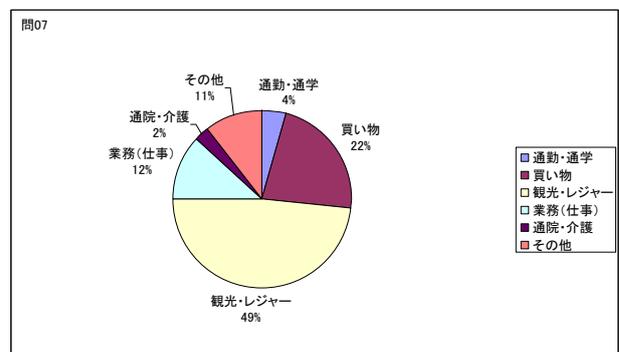
問6 【車を所有している方だけに質問】近畿自動車道(阪和道)の利用頻度はどれくらいですか。

利用頻度としては、年数回程度が31%となり、次いで月1回、月2～3回程度となった。年1回程度が4%と、利用頻度が高い結果となった。



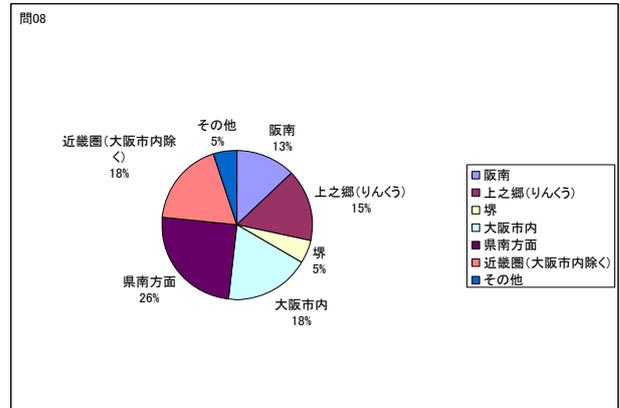
問7 【阪和道を利用する方だけに質問】その利用目的は何ですか。

利用目的は観光・レジャーが49%、買い物が22%、仕事が12%となった。



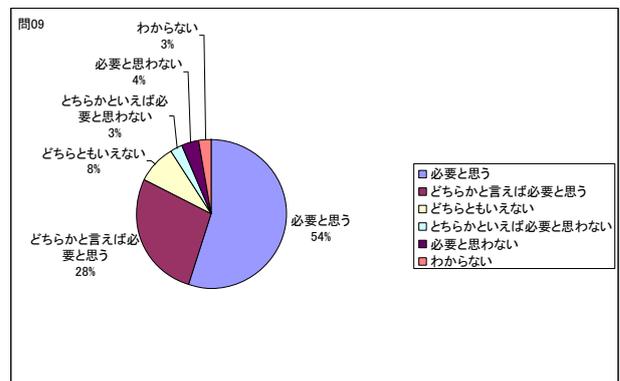
問8 【阪和道を利用する方のみに質問】よく利用する目的地のインターチェンジはどこですか。

目的地のインターチェンジとして最も多かったのが県南方面の26%で、次いで近畿圏・大阪市内18%となり、遠距離への利用が高い結果となった。



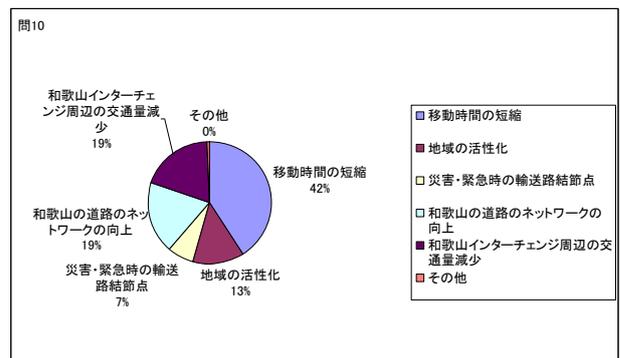
問9 【すべての方に質問】(仮称)和歌山南インターチェンジを必要と思いますか。

必要と思う、どちらかと言えば必要と思うを合わせると8割以上の方が必要であると考えているという結果となった。



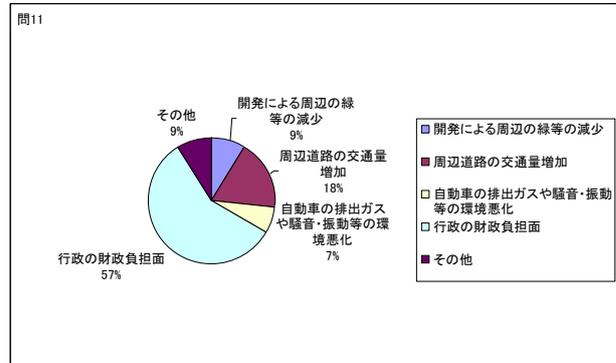
問10 【問9で必要と思うと回答した方に質問】必要と思う理由で特に重要なものをお選びください。

移動時間の短縮が42%と最も高く、新たなインターチェンジの設置による利便性の向上を重視していることが考えられる結果となった。



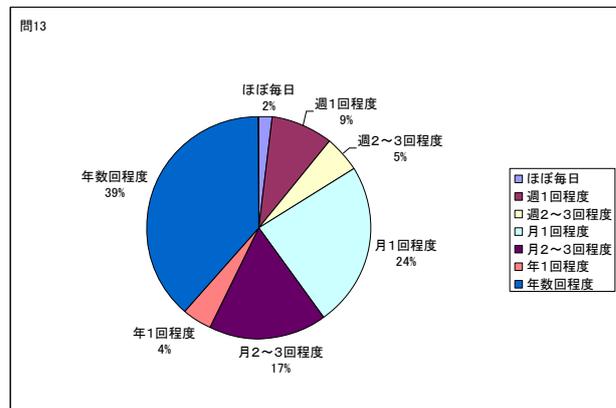
問11 【問9で必要と思わないと回答した方に質問】必要と思わない理由で特に重要なものを選びください。

行政の財政負担面が57%と半数以上を占めた。その他にも周辺道路の交通量増加が18%となっており、設置によるメリットよりも財政負担増、交通渋滞等のデメリットを重視していることが考えられる結果となった。



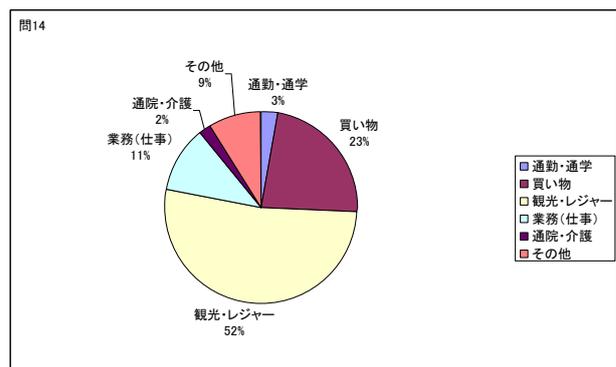
問13 【問12で利用すると回答した方に質問】どれくらいの頻度で利用されますか。

ほぼ前述の問6と同じ傾向だが、全体結果と比べ、利用頻度が低い結果となった。



問14 【問12で利用すると回答した方に質問】その利用目的は何ですか。

利用目的は、観光・レジャーが52%、買い物23%となり、私用目的に活用したいと考えている方が多いという結果となった。



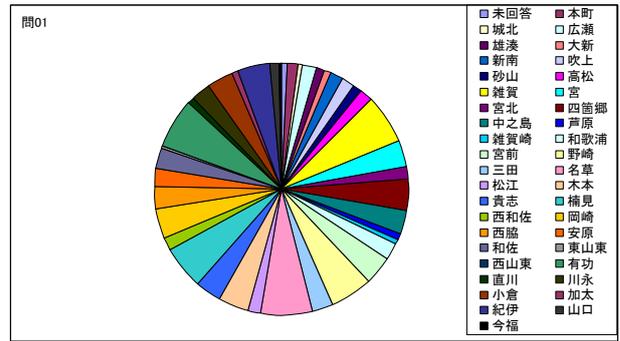


## 10. クロス集計（南インターチェンジを利用しないと回答）

問12で利用しないと回答した調査票を抽出し、集計しました。

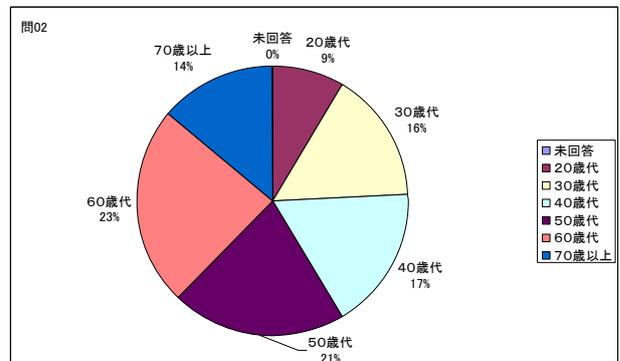
問1 【すべての方に質問】 お住まいの地域は

地域別では、名草、雑賀、有功が6%、次いで野崎、楠見、安原が5%という結果となった。



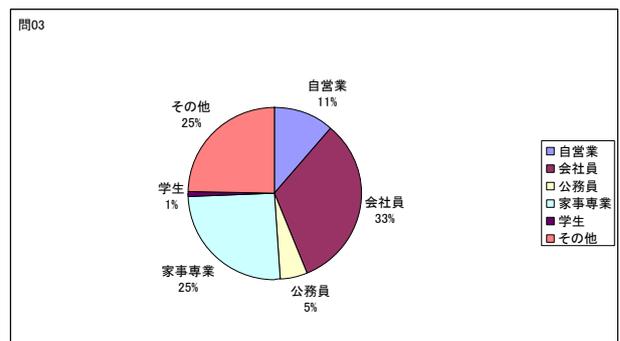
問2 【すべての方に質問】 年齢は

年代別では、50歳代以上の方が6割を占め、40歳代以下が4割、その内20歳代が9%となった。



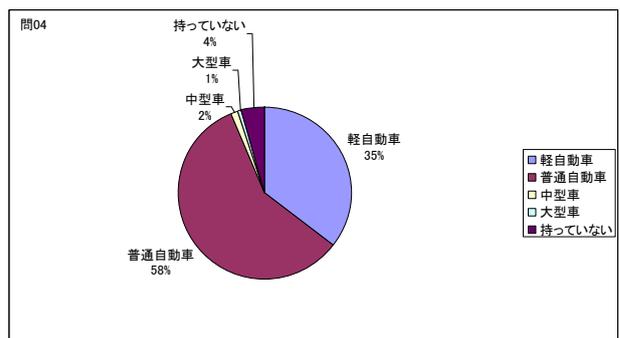
問3 【すべての方に質問】 職業は

職業別では、会社員が全体の33%と最も多く、次いでその他、家事専業、自営業、公務員という結果となった。



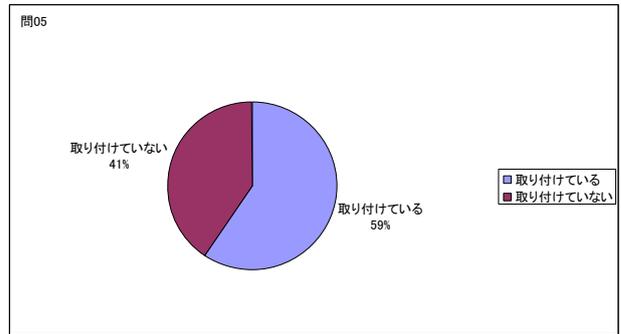
問4 【すべての方に質問】 所有されている車の車種は何ですか（主にご利用になる車）

主に利用する車種は普通自動車が58%となり、軽自動車は35%という結果となった。



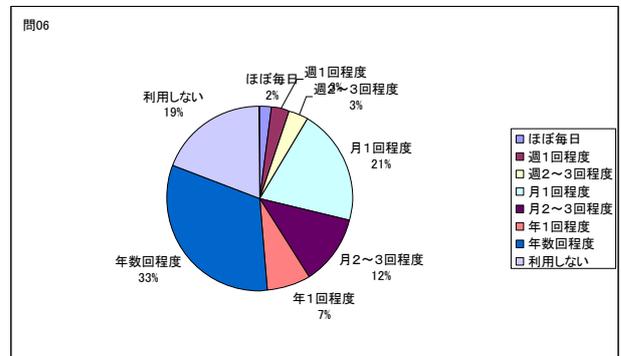
問5 【車を所有している方のみに質問】お持ちの車にETCを取り付けていますか。

ETC搭載率は59%という結果となった。



問6 【車を所有している方のみに質問】近畿自動車道(阪和道)の利用頻度はどれくらいですか。

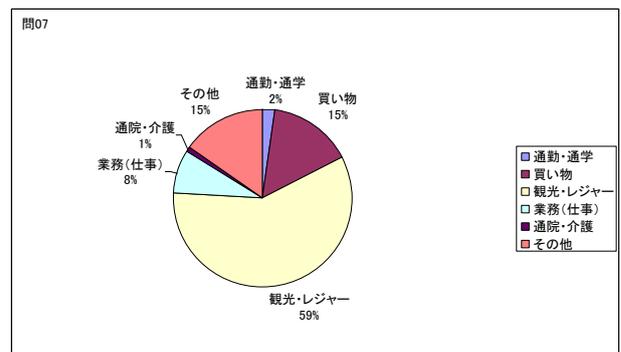
利用頻度としては、年数回程度が33%となり、次いで月1回が21%となった。利用しないという回答も19%となり、利用するとの回答のクロス集計結果と比べ利用頻度が低い結果となった。



問7 【阪和道を利用する方のみに質問】その利用目的は何ですか。

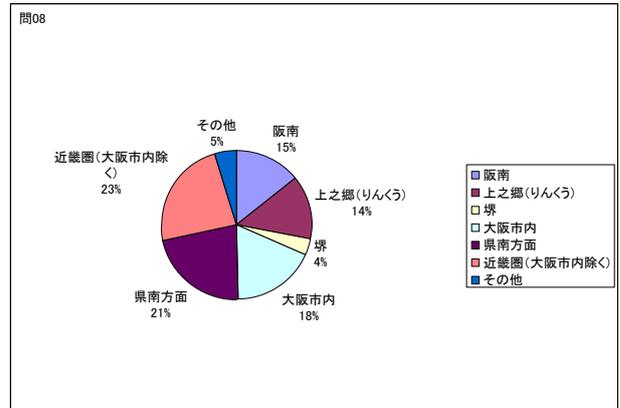
利用目的は観光・レジャーが59%、買い物15%、仕事8%となった。

自由意見も帰省や友人訪問等の回答が多く、週末や休日に上記目的で高速道路を利用する方が多いことが考えられる結果となった。



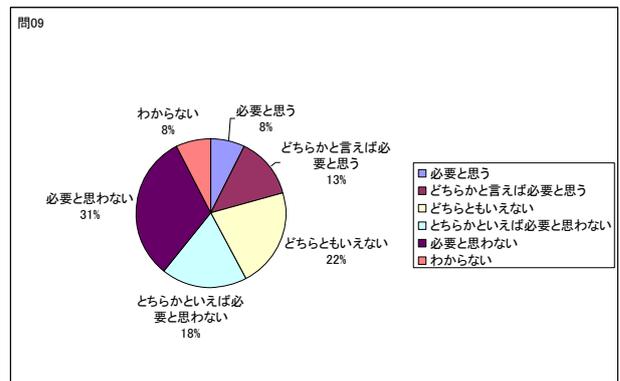
問8 【阪和道を利用する方のみに質問】よく利用する目的地のインターチェンジはどこですか。

目的地のインターチェンジとして最も多かったのが近畿圏の23%、次いで県南地方21%、大阪市内が18%という結果となった。



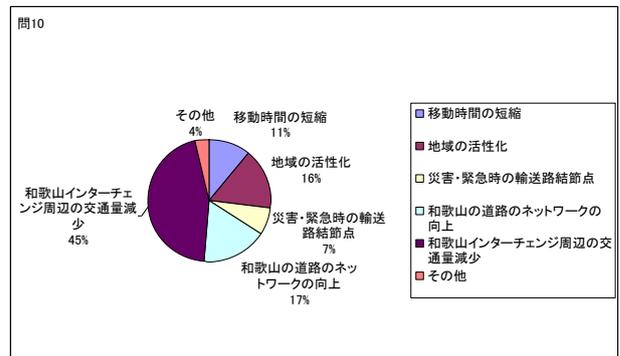
問9 【すべての方に質問】(仮称)和歌山南インターチェンジを必要と思いますか。

利用しないと回答の集計であるため、必要と思う（必要と思う、どちらかと言えば必要と思う）という回答が21%と低くなっている。



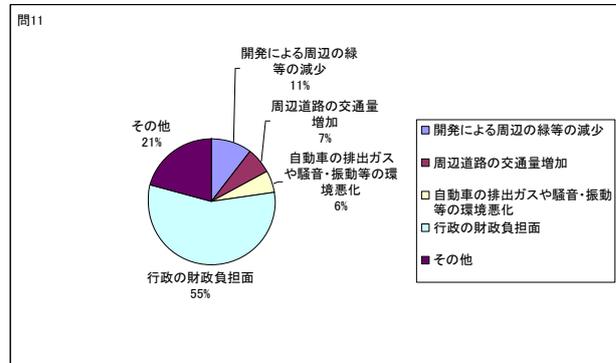
問10 【問9で必要と思うと回答した方に質問】必要と思う理由で特に重要なものをお選びください。

南インターチェンジを利用しないが、必要と思う理由として、最も多かった回答は和歌山インターチェンジ周辺の交通量減少が45%となり、利用するインターチェンジ周辺道路の交通渋滞を問題視している結果となった。



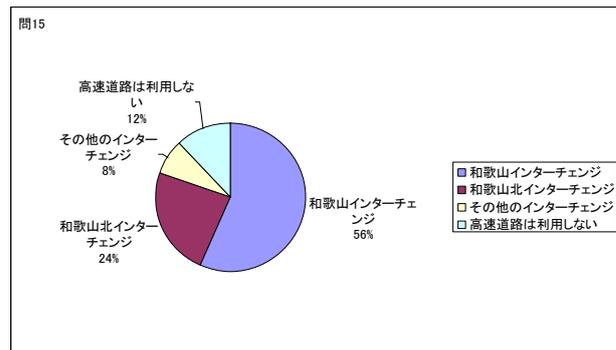
問11 【問9で必要と思わないと回答した方に質問】必要と思わない理由で特に重要なものを選びください。

行政の財政負担面が55%と半数以上を占めた。その他としては、和歌山市中心部の活性化が望めない、中途半端な位置でメリットがない、もっと旧市内へ自動車専用車線を入れて欲しい、現在の状況分析が不十分といったご意見があった。



問15 【問12で利用しないと回答した方に質問】利用しない場合、どのインターチェンジを利用しますか。

和歌山インターチェンジが56%、和歌山北インターチェンジが24%と、地域別に居住地付近のインターチェンジを利用していることが考えられる結果となった。



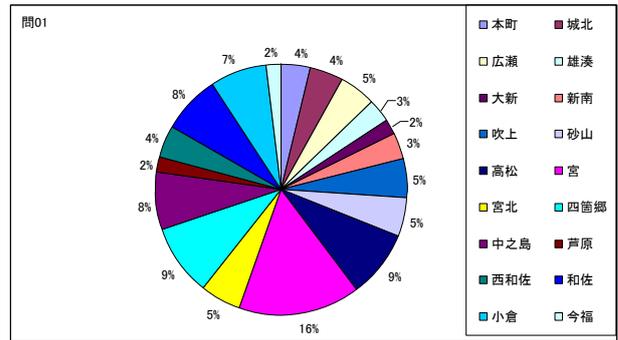


## 1 1. クロス集計（高速道路をよく利用すると回答）

問6でほぼ毎日、週2～3回と回答した調査票を抽出し、集計しました。

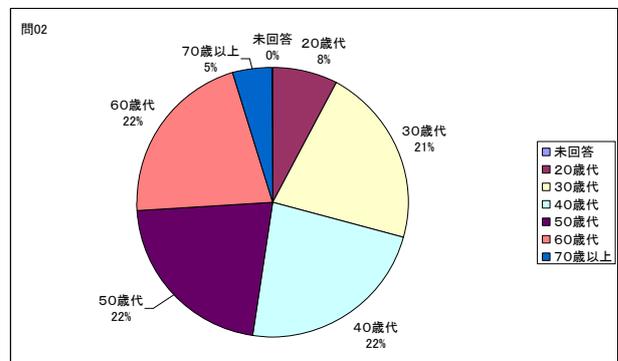
問1 【すべての方に質問】お住まいの地域は

回答が多かった地域は、楠見が12%、次いで名草、雑賀、宮前、西山東という結果となった。



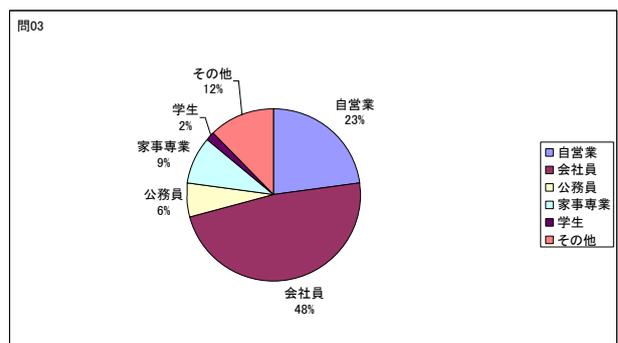
問2 【すべての方に質問】年齢は

他のデータと比べ70歳以上が5%と低く、30歳から60歳代まで均衡した割合となっている。また、20歳代は8%という結果となった。



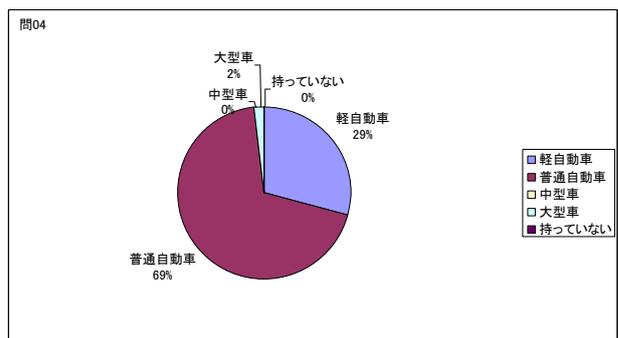
問3 【すべての方に質問】職業は

会社員が全体の48%と最も多く、ついで自営業23%となった。業務等で高速道路を利用する機会が多いことが考えられる結果となった。



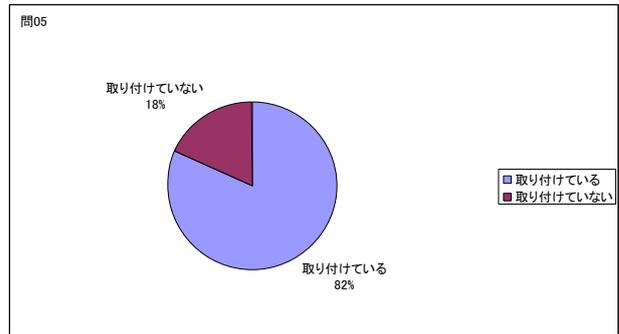
問4 【すべての方に質問】所有されている車の車種は何ですか（主にご利用になる車）

主に利用する車種は普通自動車69%となり、軽自動車は29%となった。



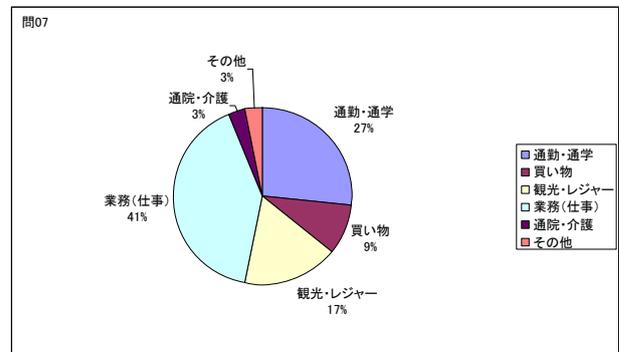
問5 【車を所有している方のみに質問】お持ちの車にETCを取り付けていますか。

よく高速道路を利用される方のETC搭載率は82%と、非常に高い搭載率となっていることが伺える。



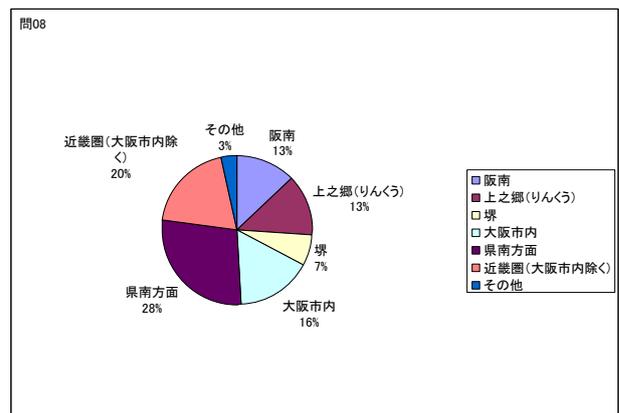
問7 【阪和道を利用する方のみに質問】その利用目的は何ですか。

高速道路を利用する機会が多い方の利用目的は業務（仕事）が41%と最も多く、次いで通勤・通学が27%という結果となった。



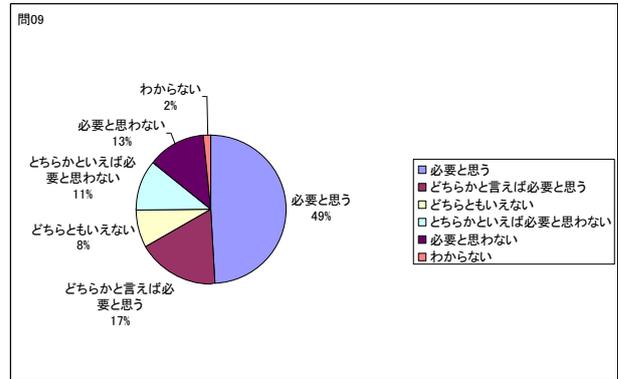
問8 【阪和道を利用する方のみに質問】よく利用する目的地のインターチェンジはどこですか。

県南方面が28%、近畿圏が20%、次いで大阪市内となり、遠距離への利用が高いことが伺える。



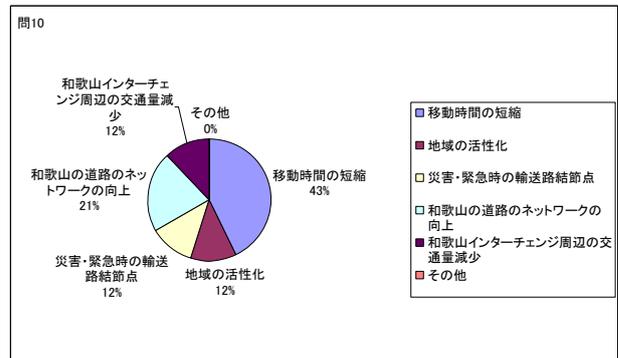
問9 【すべての方に質問】（仮称）和歌山南インターチェンジを必要と思いますか。

およそ6割以上の方が必要（必要と思う、どちらかと言えば必要と思う）という回答であり、必要と思わない（必要と思わない、どちらかと言うと必要と思わない）の回答は、約2割強という結果となり、他の集計結果と比べ、よく高速道路を利用される方は、南インターチェンジが必要であると考えている。



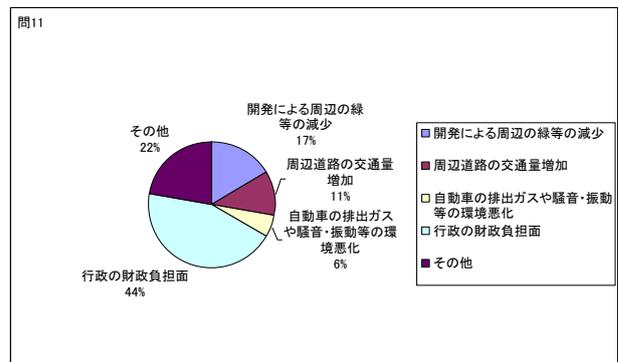
問10 【問9で必要と思うと回答した方に質問】必要と思う理由で特に重要なものをお選びください。

高移動時間の短縮が43%と最も多く、次いで和歌山の道路のネットワークの向上が21%と、利便性の向上を重視している結果となった。



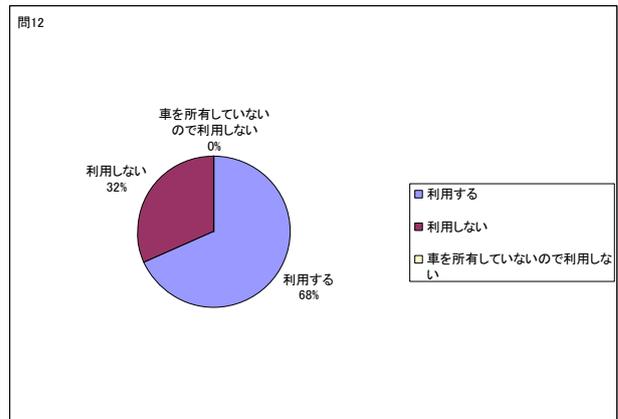
問11 【問9で必要と思わないと回答した方に質問】必要と思わない理由で特に重要なものを選びください。

行政の財政負担面が44%、その他が22%、次いで開発による周辺の緑等の減少となった。その他としては、一般道路の整備が優先であること、その時の周辺道路状況によりわからないといったご意見があった。



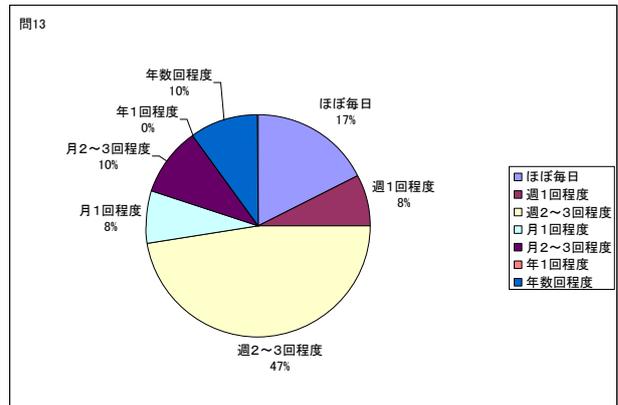
問12 【すべての方に質問】もし(仮称)和歌山南インターチェンジが設置されれば利用しますか。

利用するが68%、利用しないが32%という結果となった。



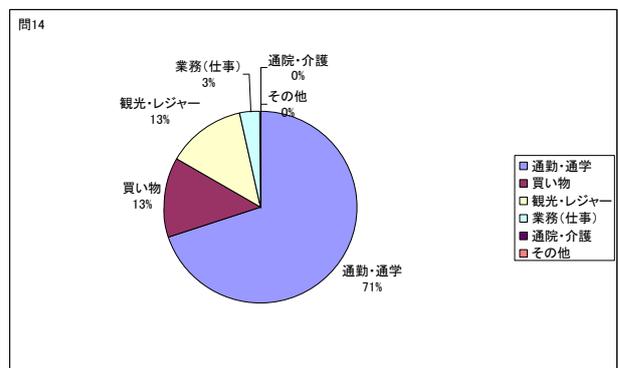
問13 【問12で利用すると回答した方に質問】どれくらいの頻度で利用されますか。

ほぼ毎日、週1回、週2～3回程度の割合が半数以上を占めているが、南インターチェンジ設置により月数回、年数回のニーズも発生していることが考えられる結果となった。



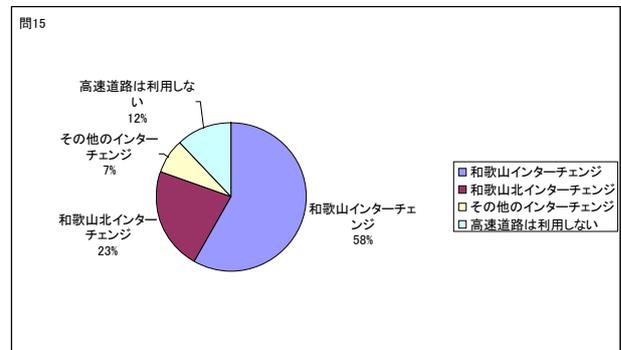
問14 【問12で利用すると回答した方に質問】その利用目的は何ですか。

利用目的は、通勤・通学が71%と大半を占めた。前述の質問とあわせて、通勤・通学時間の短縮を重視していると考えられる結果となった。



問15 【問12で利用しないと回答した方に質問】利用しない場合、どのインターチェンジを利用しますか。

和歌山インターチェンジが58%、和歌山北インターチェンジが23%と、地域別に居住地付近のインターチェンジを利用していることが考えられる結果となった。



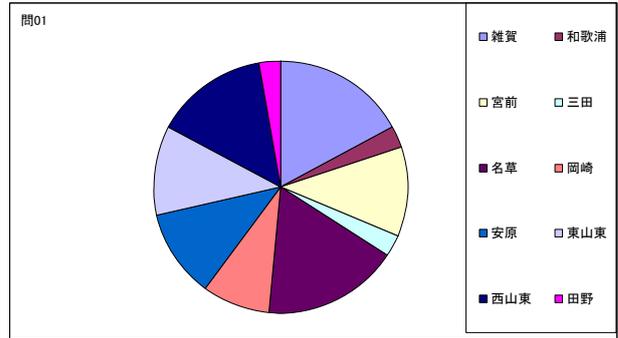
## 12. クロス集計

(南東部・南部地域居住で高速道路をよく利用すると回答)

問1で南東部・南部地域と回答し、かつ問6でほぼ毎日、週2～3回と回答した調査票を抽出し、集計しました。

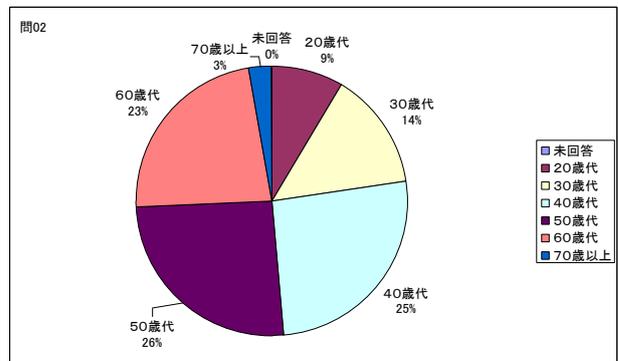
問1 【すべての方に質問】お住まいの地域は

回答が多かった地域は、雑賀が17%、次いで名草、西山東という結果となった。



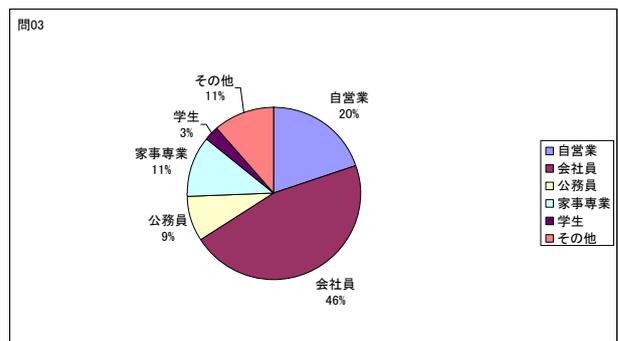
問2 【すべての方に質問】年齢は

他の結果と比べ70歳以上が3%と低く、40歳から60歳代まで均衡した割合となっている。また、20歳代は9%という結果となった。



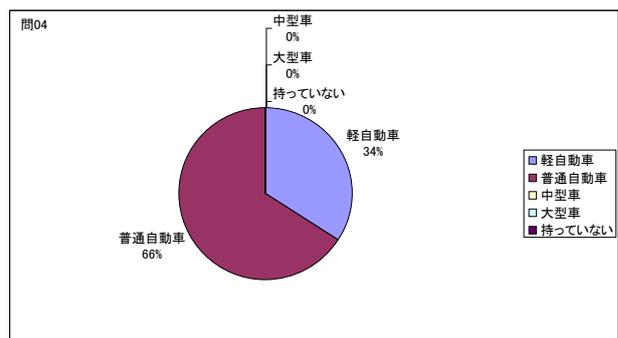
問3 【すべての方に質問】職業は

会社員が全体の46%と最も多く、次いで自営業20%という結果となった。



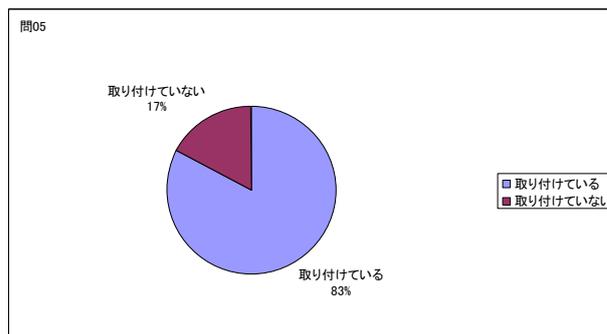
問4 【すべての方に質問】所有されている車の車種は何ですか（主にご利用になる車）

主に利用する車種は普通自動車66%となり、軽自動車は34%となった。



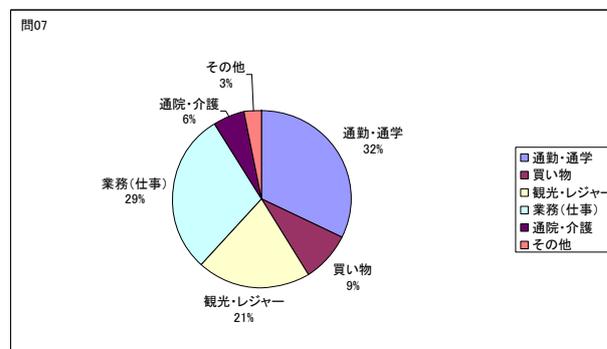
問5 【車を所有している方だけに質問】お持ちの車にETCを取り付けていますか。

今回のアンケートでのETC装着率は83%となり、搭載率が非常に高い結果となった。



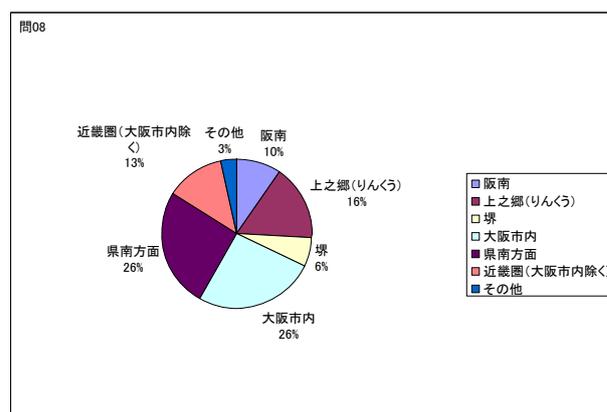
問7 【阪和道を利用する方だけに質問】その利用目的は何ですか。

高速道路を利用する機会が多い方の利用目的は通勤・通学が32%と最も多く、次いで業務（仕事）が29%、次いで観光・レジャーが21%という結果となった。



問8 【阪和道を利用する方だけに質問】よく利用する目的地のインターチェンジはどこですか。

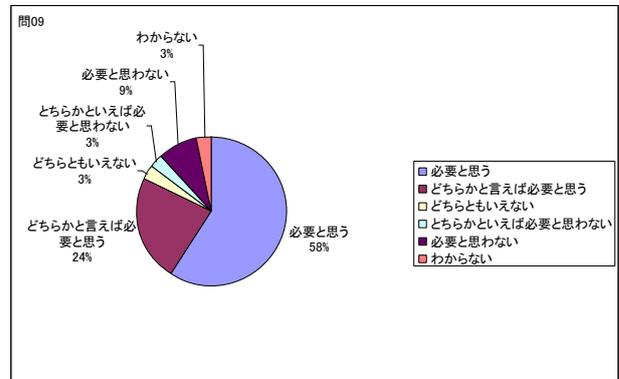
県南方面・大阪市内が26%、上之郷が16%、次いで近畿圏という結果となった。



問9 【すべての方に質問】（仮称）和歌山南インターチェンジを必要と思いますか。

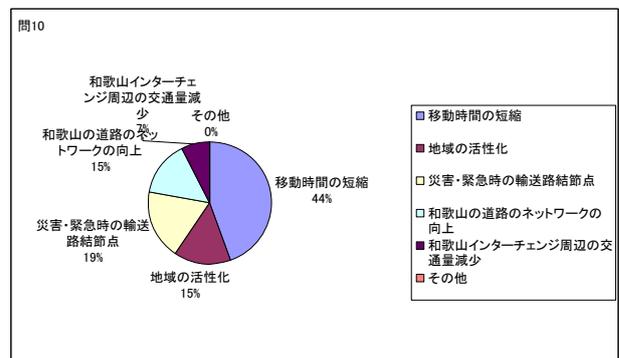
82%の方が必要（必要と思う、どちらかと言えば必要と思う）という回答であり、必要と思わない（必要と思わない、どちらかと言うと必要と思わない）の回答は、約1割強という結果となった。

このことから、南インターチェンジの利用圏域に居住する方で、高速道路をよく利用される方の南インターチェンジの設置願望が非常に高いことが伺える。



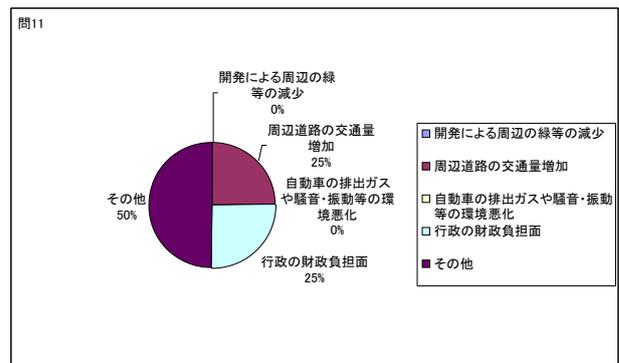
問10 【問9で必要と思うと回答した方に質問】必要と思う理由で特に重要なものをお選びください。

移動時間の短縮が44%と最も多く、次いで災害・緊急時の輸送路結節点が19%と、高速道路としての様々な利点を重視していることが考えられる結果となった。



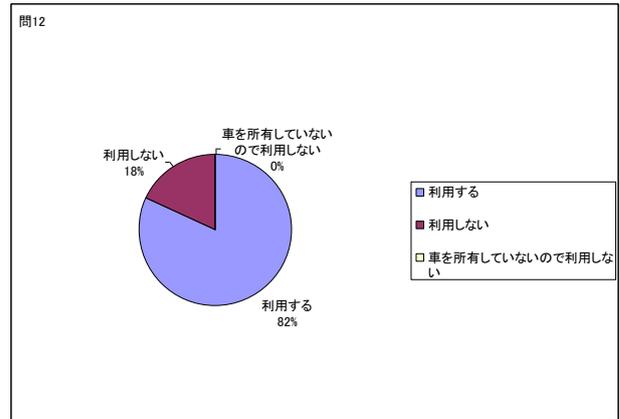
問11 【問9で必要と思わないと回答した方に質問】必要と思わない理由で特に重要なものをお選びください。

問9で必要と思わないと回答された方が少なく、やや極端な結果となった。その他としては、利用しない、一般道路の整備が優先、その時の周辺道路状況によりわからない、といったご意見があった。



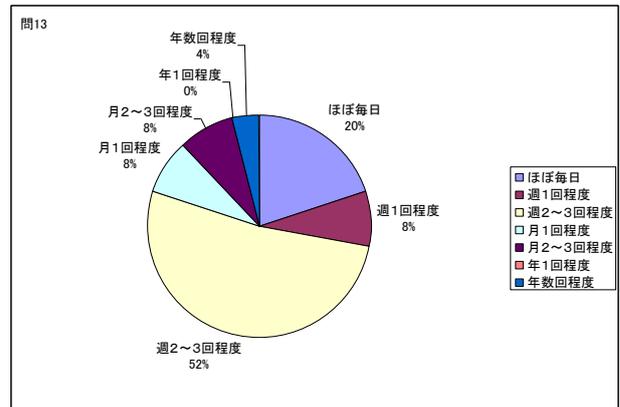
問12 【すべての方に質問】もし(仮称)和歌山南インターチェンジが設置されれば利用しますか。

利用するが82%、利用しないが18%となり、居住地付近にインターチェンジが設置されれば積極的に利用したいと思う方が多いことが考えられる結果となった。



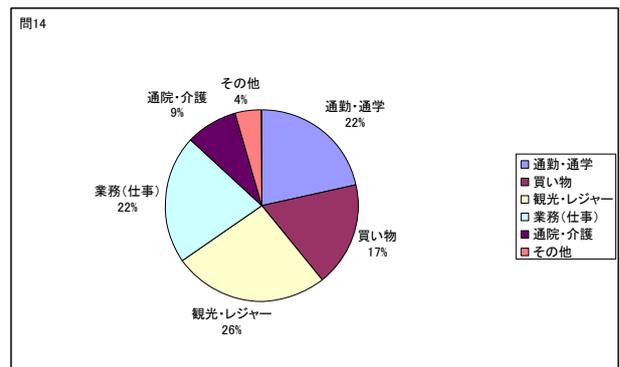
問13 【問12で利用すると回答した方に質問】どれくらいの頻度で利用されますか。

現在、ほぼ毎日、週2～3回程度利用されている回答を抽出した集計の中で、南インターチェンジをほぼ毎日、週2～3回程度を利用するとの回答が72%と減少する結果となった。これは、業務地の近辺のインターチェンジを現在利用しており、業務のほか、私用等により、南インターチェンジも時折、利用することが考えられる。



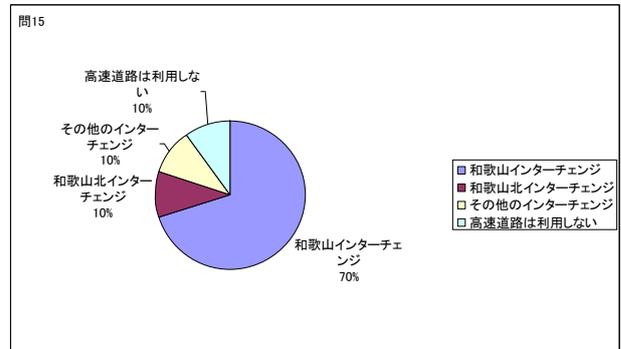
問14 【問12で利用すると回答した方に質問】その利用目的は何ですか。

利用目的は、通勤・通学、業務（仕事）がともに22%となっており、問7と比べ、割合が低くなっている。南インターチェンジは、私用により利用するとの回答が伺える。



問15 【問12で利用しないと回答した方に質問】利用しない場合、どのインターチェンジを利用しますか。

和歌山インターチェンジが70%、和歌山北インターチェンジが10%と、他の設問の傾向から業務等でよく高速道路を利用し、その勤務先からの利用が多いことが伺える。



### 13. アンケート調査票

## (仮称)和歌山南インターチェンジ設置の必要性調査に係るアンケート調査

### アンケートへのご協力をお願い

平素は、市政の推進にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

和歌山市では、平成 22 年 3 月に和歌山北インターチェンジが供用され、紀ノ川以北地域の市民の方々の利便性が向上されました。

しかし、和歌山インターチェンジ以南では、和歌山インターチェンジから海南東インターチェンジまで約 10k m あり、出発地からインターチェンジまで遠く、時間的短縮のメリットを享受できないなどの問題があります。

市内南東部地域、南部地域においてこうした課題があることから、和歌山市では、高速道路へのアクセスの利便性を高めるため、近畿自動車道紀勢線（通称：阪和自動車道）和歌山インターチェンジの南に新たなインターチェンジ（スマートインターチェンジ※を含めた）の設置の必要性について、検討しているところです。

今回の調査は、その新たなインターチェンジの必要性について、市民の方々のご意見を聴取し、今後の検討資料とするために行うものです。

現在検討している内容について、別紙にまとめておりますので、ご参考いただき、アンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

このアンケートは無記名ですので、どなたのお答えかわからないようになっており、皆様にご迷惑をおかけすることがない様に統計的に処理し、使用目的以外には使用いたしません。また、市内在住の 20 歳以上の市民の方々 3, 000 人を無作為抽出し、送付しております。

ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

1. ご回答は、当てはまる項目に○をつけ、ご記入ください。なお、すべての問いについて、1 つだけ○をつけてください。「その他」を選ばれた方は、お手数ですが、内容をご記入ください。
2. ご回答につきましては、調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、  
**平成 23 年 8 月 12 日（金曜日）** までにご投函ください。
3. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。  
和歌山市 総務局 企画部 交通政策課 電話 073-435-1016
4. なお、本調査はシティコンピュータ株式会社に業務委託し、調査を行なっています。

平成 23 年 7 月

和歌山市 総務局 企画部 交通政策課

#### ※スマートインターチェンジ

高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、通行可能な車両（料金の支払い方法）を、E T C（電子料金収受システム）を搭載した車両に限定しているインターチェンジです。利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、料金徴収員が不要なため、従来の I C に比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。

このスマートインターチェンジは、平成 22 年度末現在、全国で 55 箇所供用されています。

(仮称)和歌山南インターチェンジ設置の必要性調査に係るアンケート調査票

問1 貴社の所在する地域は

<b>【和歌山市】</b>						
ア. 本町	イ. 城北	ウ. 広瀬	エ. 雄湊	オ. 大新	カ. 新南	キ. 吹上
ク. 砂山	ケ. 高松	コ. 雑賀	サ. 宮	シ. 宮北	ス. 四箇郷	セ. 中之島
ソ. 芦原	タ. 雑賀崎	チ. 和歌浦	ツ. 宮前	テ. 湊	ト. 野崎	ナ. 三田
ニ. 名草	ヌ. 松江	ネ. 木本	ノ. 貴志	ハ. 楠見	ヒ. 西和佐	フ. 岡崎
ヘ. 西脇	ホ. 安原	マ. 和佐	ミ. 東山東	ム. 西山東	メ. 有功	モ. 直川
ヤ. 川永	ユ. 小倉	ヨ. 加太	ラ. 紀伊	リ. 山口	ル. 今福	レ. 田野
<b>【紀の川市貴志川町】</b>						
ロ. 前田	ワ. 尼寺	ヲ. 上野山	ン. 神戸	ガ. 国主	ギ. 井ノ口	グ. 高尾
ゲ. 岸小野	ゴ. 北	ザ. 長原	ジ. 長山	ズ. 西山	ゼ. 岸宮	ゾ. 鳥居
ダ. 北山	ヂ. 丸栖					
<b>【紀の川市桃山町】</b>						
ヅ. 市場	デ. 元	ド. 段	バ. 段新田	ビ. 神田	ブ. 最上	ベ. 調月
ボ. 大原	パ. 善田	ピ. 黒川	プ. 野田原	ペ. 脇谷	ポ. 垣内	ピ. 中畑
エ. 峰						

問2 貴社の業種は

ア. 農林水産業	イ. 鉱業	ウ. 建設業
エ. 製造業	オ. 電気・ガス・熱供給・水道業	カ. 運輸業
キ. 情報通信業	ク. 卸売・小売業	ケ. 金融・保険業
コ. 不動産業	サ. サービス業	シ. その他 ( )

問3 貴社の資本金は

ア. 200万円未満	イ. 200万円以上1,000万円未満
ウ. 1,000万円以上5,000万円未満	エ. 5,000万円以上1億円未満
オ. 1億円以上	カ. 不明

問4 貴社事業所の従業員数

ア. 20人未満	イ. 20人～50人未満	ウ. 50人～100人未満
エ. 100人～300人未満	オ. 300人以上	

問5 貴社において荷物等の搬送、搬入また、業務等で高速道路を利用しますか

(搬送・搬入業者が高速道路を利用することも含む)

ア. 利用する	イ. 利用しない
---------	----------

《アと回答した方は問6へ イと回答した方は問10へ》

問6 【問5で利用すると回答した方のみに質問】近畿自動車道(阪和道)の利用頻度はどれくらいですか

ア. ほぼ毎日	イ. 週1回程度	ウ. 週2～3回程度	エ. 月1回程度
オ. 月2～3回程度	カ. 年1回程度	キ. 年数回程度	

問7 【問5で利用すると回答した方のみに質問】主な目的地のインターチェンジはどこですか

ア. 阪南	イ. 上之郷(りんくう)	ウ. 堺	エ. 大阪市内	オ. 県南方面
カ. 近畿圏(大阪市内除く)	キ. その他 ( )			

問8 【問5で利用すると回答した方のみに質問】現況の和歌山インターチェンジの問題点は

ア. インターチェンジ周辺道路の交通渋滞	イ. インターチェンジ周辺での交通事故
ウ. 渋滞・事故両方	エ. 問題なし
オ. その他 ( )	

《ア～ウ・オと回答した方は問9へ エと回答した方は問10へ》

[裏面へ続く]

問9 問題と感ずる時間帯

ア. 朝夕両方	イ. 朝のみ
ウ. 夕のみ	エ. 日中

《問10へ》

問10 (仮称)和歌山南インターチェンジを必要とご思いますか

ア. 必要とご思う	イ. どちらかといえは必要とご思う	ウ. どちらともいえない
エ. どちらかといえは必要とご思わない	オ. 必要とご思わない	カ. わからない

《ア・イと回答した方は問11へ エ・オと回答した方は問12へ ウ・カと回答した方は問13へ》

問11 【問10で必要とご思うと回答した方に質問】必要とご思う理由で重要なものをお選びください

ア. 移動時間の短縮	イ. 地域の活性化	ウ. 災害・緊急時の輸送路結節点
エ. 和歌山市の道路のネットワークの向上		
オ. 和歌山インターチェンジ周辺の交通量減少		
カ. その他 (		)

《問13へ》

問12 【問10で必要とご思わないと回答した方に質問】必要とご思わない理由で重要なものをお選びください

ア. 開発による周辺の緑等の減少	イ. 周辺道路の交通量増加
ウ. 自動車の排出ガスや騒音・振動等の環境悪化	エ. 行政の財政負担面
オ. その他 (	)

《問13へ》

問13 (仮称)和歌山南インターチェンジが設置されれば利用しますか。

ア. 利用したい	イ. 利用したくない
----------	------------

《アと回答した方は問14へ イと回答した方は問15へ》

問14 利用する理由

ア. 時間短縮	イ. 渋滞回避	ウ. 移動距離の短縮
エ. 代替路線機能・選択肢の増加	オ. 輸送コストの削減	
カ. 回転率の向上	キ. その他 (	)

《問16へ》

問15 利用しない理由

ア. 通行料金が高い	イ. 時間短縮のメリットがない
ウ. 事業所から遠い	エ. その他 (

《問16へ》

問16 (仮称)和歌山南インターチェンジ設置検討箇所でどのような機能・施策が必要だと思ひますか

--

問17 その他ご意見があればお書きください。

--

## (仮称)和歌山南インターチェンジ設置の必要性調査検討の概要

平成22年度に和歌山市では、和歌山市南東部地域への新たなインターチェンジ（以下、「IC」と略）の必要性について検討を行いました。その検討内容の概要について、下記のとおりです。

### 1. 新たなインターチェンジ設置の必要性

#### 道路網の機能向上

- IC へのアクセス時間短縮
- 和歌山 IC 周辺道路の渋滞緩和
- 和歌山市・海南市間道路の負担軽減

#### 南東部・南部地域の活性化

- 観光拠点への到達時間短縮による観光活性化
- 地域産業の育成強化
- 産業・経済の活性化
- 周辺地域の価値向上

#### 緊急輸送・高度医療体制の確立

- 災害時における緊急輸送ネットワークの機能向上
- 医療機関へのアクセス時間短縮による広域的な高度医療体制の確立

### 2. 設置検討箇所

IC の設置場所を選定するにあたり、近畿自動車道紀勢線（通称：阪和自動車道）と交差する県道及び市道（幹線道路以上）を選定したところ、県道和歌山橋本線の1路線のみであり、かつ既存の和歌山 IC と海南東 IC の約中間地点は、県道和歌山橋本線付近であることから、設置位置検討箇所を下記地図のとおりとしました。



## 2. 交通量予測

設置検討箇所に新たに IC を設置すると、新たな IC の 1 日あたりの交通量は、約 4,000 台と予測されます。

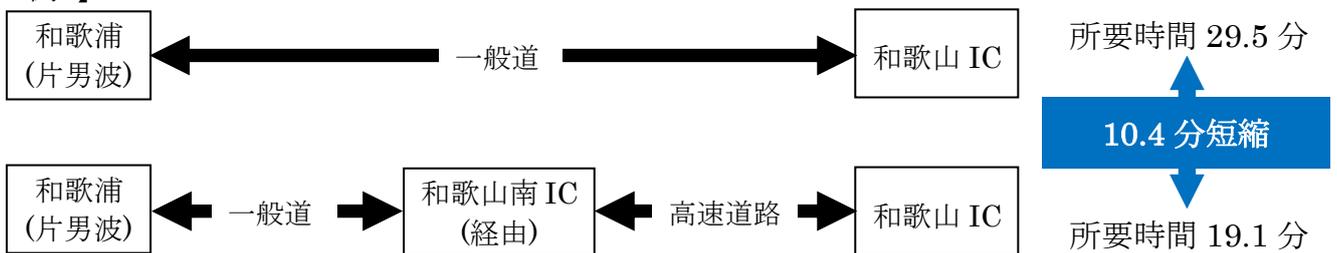
### 【参考】

和歌山 IC                      約 21,000 台/日                      和歌山北 IC                      約 4,200 台/日

## 3. 設置の効果

①『主な施設から和歌山 IC』への経路（現状）と『主な施設から和歌山南 IC を経由し和歌山 IC』への経路（和歌山南 IC を設置した場合）の到達短縮時間

例】



出発地	和歌山本港	中央卸売市場	和歌浦(片男波)	県立医大附属病院	紀三井寺競技場	四季の郷公園
短縮時間	4.2分	5.9分	10.4分	9.9分	9.9分	6.3分

②周辺道路の交通量の緩和

和歌山南 IC を設置することにより、主な周辺道路の交通量減少は下図のとおりと推計されます。

